

平成 2 7 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	3
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	4
3. 会議記録.....	5
4. 委員会.....	6
1) 委員会の所管事項.....	6
2) 委員会委員.....	6
3) 委員会・部会 会議実績.....	8
5. 自動車教育推進協議会.....	9
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	11
1) 機材提供活動.....	11
2) 教員支援活動.....	13
3) 協賛支援活動.....	14
4) 交流促進活動.....	14
2. 調査研究事業.....	16
1) 調査活動.....	16
2) 教材作成活動.....	19
3. 研修事業.....	20
1) 財団研修活動.....	20
2) 講師派遣活動.....	21
4. 普及啓発事業.....	22
1) 普及啓発活動.....	22
2) 広域普及啓発活動.....	24

〔IV〕 支援活動

- 1. 自動車技術教育関連イベントへの支援…………… 27
- 2. 研究会及び研究大会への支援…………… 27

〔V〕 組織運営

- 1. 理事・監事・評議員の異動…………… 28
- 2. 委員会・部会の効率的な運営…………… 28
- 3. 財務・経理の状況…………… 28
- 4. 内閣府立入検査への対応…………… 28

〔VI〕 庶務事項

- 1. 事務局体制…………… 29
- 2. 賛助会費・寄附金の状況…………… 29

※ 添付資料

- 【資料 1】 平成 27 年度講師派遣実績…………… 30
- 【資料 2】 平成 27 年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況…………… 39

〔I〕平成27年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、平成27年度も事業活動に取り組んだ。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に提供教材メニューの充実を図った。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上を目的とした支援活動にも取り組み、指導員の派遣や指導教材の提供を適宜実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、引き続き「交通」「環境」「交通安全」「自動車」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を重ね、調査報告書や広報誌の特集記事に反映させ教育関係者へ展開した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会の開催や、関係団体からの専門講師の学校派遣を増やすなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

1. 自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業では、東北・関東の一部県、中部・近畿地方の15府県307校を対象に、自動車技術教育用教材提供の公募を行った。応募した101校を対象に、審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、101校に教材の提供を行った。これで、平成3年からの提供校累計は1,629校となった。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上支援の一環として、提供教材の取扱指導（20校）、DVD教材の提供（12校）、及び技術系の講師派遣（22件）を実施した。

更に、自動車教育推進協議会と連携し、対象15府県全てにおいて教材贈呈式と教育懇談会を開催し、高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

2. 調査研究事業

調査研究事業では海外調査を2回、国内調査を3回実施した。海外においては、次世代自動車（EV、水素）活用インフラの先進的整備事例や最新の都市交通政策を探るべく、ドイツ・オランダ及びイタリアの交通事情調査を実施した。また、国内においては五輪に向けた都の自転車交通政策や地方の水素インフラ整備・BRT活用状況など、今後の財団事業の参考にすべく多面的な調査研究を行った。

この調査結果は、財団の事業報告紙である『JAEF REPORT』で報告するとともに、広報誌『Traffi-Cation（トラフィックーション）』の特集記事や海外交通事情として記事化し、広く高等学校への展開を行なった。

3. 研修事業

研修事業では、JAEF 研修会（財団主催の研修会）を東京、静岡、兵庫の3都県で合計4回開催した結果、200名の高校教諭が受講し、参加者から大変高い評価を得た。

また、講師派遣活動（地域主催研修会への支援）においては、全国の高等学校を対象に広域公募活動を行った結果、大変多くの申し込みがあり、講師派遣件数は前年度を上回る258件に達した。また受講した教職員と生徒の合計は99,386名となり、講師派遣の件数、受講者数共に過去最多となった。

4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、全国の高等学校（約5,900校）を対象とした広報誌『Traffi-Cation』を3回発行し、高等学校における自動車教育に対する理解促進と財団活動に対する認知向上に努めた。また同誌の高校教諭に対する個別提供の拡大を進め、同誌のさらなる普及拡大に努めた。

さらに、広域普及啓発活動として、ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等の多様なメディア展開を図り、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報発信を行った。特に、財団ホームページやパンフレット類については、事業展開に合わせて適宜更新を行うなど、タイムリーな情報発信を心掛けた。

5. 組織運営について

平成27年度の財団事業は、第8回理事会（平成27年3月24日開催）にて承認された平成27年事業計画及び平成27年度収支予算に基づき、展開された。

具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これらの会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

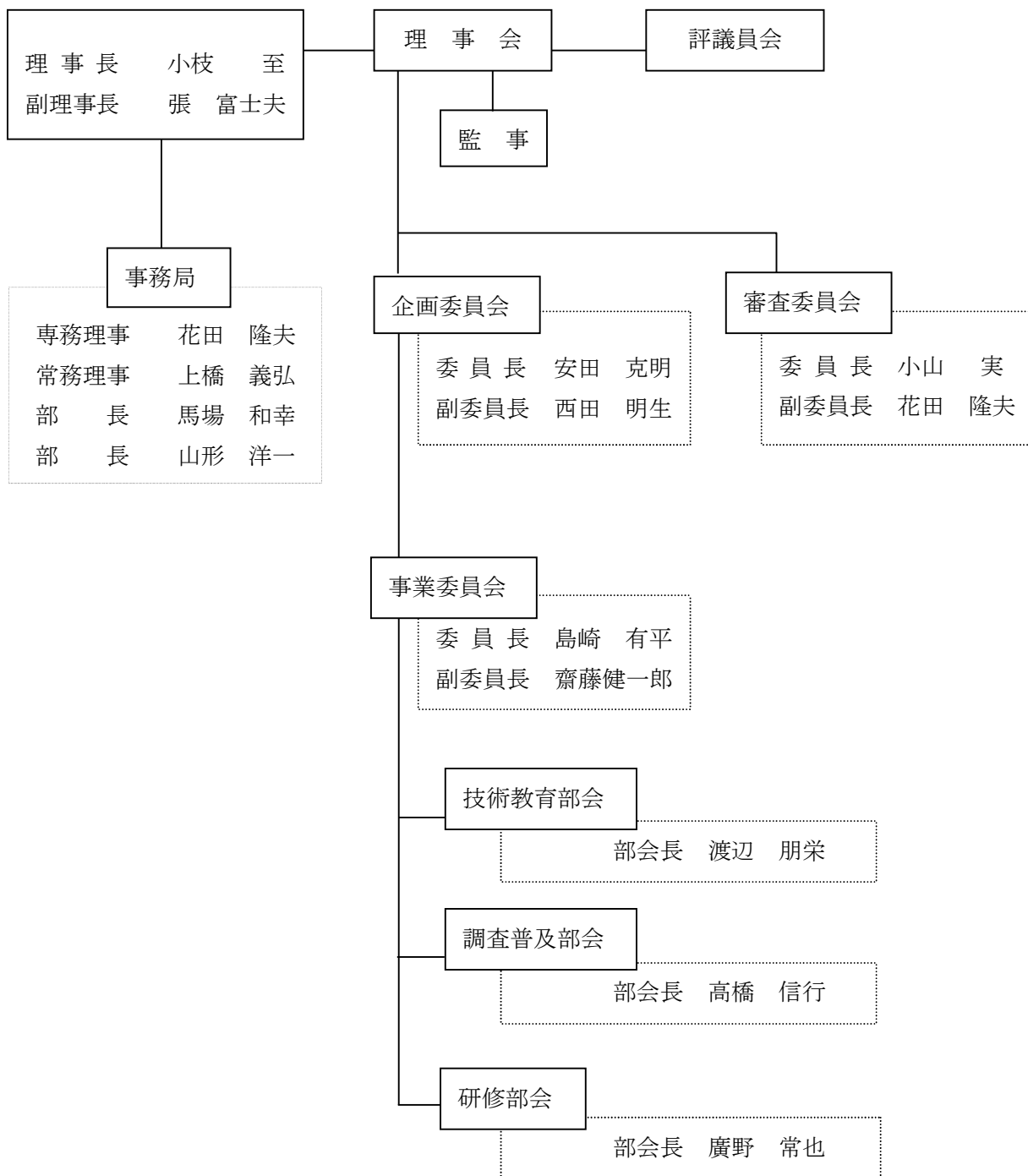
収支に関しては、収入（基本財産の運用収入、関係団体からの賛助会費、寄附金収入等）が予算を若干上回った一方、支出面では、事業規模の維持・充実と運営の効率化・適正な費用管理に努めほぼ予算通りとなったため、最終的な収支全体は予算を若干上回る黒字となった。

〔Ⅱ〕組織

1. 機構

平成 28 年 3 月 31 日現在

敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

[平成 28 年 3 月 31 日現在]

(敬称略)

理事長	小 枝 至	[日 産 自 動 車(株)	相 談 役]
副理事長	小 張 富士夫	[ト ヨ タ 自 動 車(株)	名 誉 会 長]
理 事	永 塚 誠 一	[(社)日 本 自 動 車 工 業 会	副 会 長・専 務 理 事]
理 事	平 井 敏 文	[(社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会	副 会 長・専 務 理 事]
理 事	木 場 宣 行	[(社)日 本 自 動 車 整 備 振 興 会 連 合 会	専 務 理 事]
理 事	久 米 正 一	[(社)日 本 自 動 車 連 盟	専 務 理 事]
理 事	村 上 太 助	[(社)全 国 軽 自 動 車 協 会 連 合 会	専 務 理 事]
理 事	深 田 一 政	[(社)日 本 損 害 保 險 協 会	常 務 理 事]
理 事	長 田 利 彦	[(社)全 国 工 業 高 等 学 校 長 協 会	顧 問]
専務理事	花 田 隆 夫	[(公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団	事 務 局 常 勤]
常務理事	上 橋 義 弘	[(公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団	事 務 局 常 勤]

(以上 11 名)

監 事	大 上 工	[(社)日 本 自 動 車 工 業 会	理 事・事 務 局 長]
監 事	軽 部 博 雄	[日 産 自 動 車(株)	常 務 執 行 役 員]
監 事	山 崎 幸 雄	[山 崎 幸 雄 税 理 士 事 務 所	代 表]

(以上 3 名)

評 議 員	小 栗 洋	[全 国 高 等 学 校 長 協 会	事 務 局 長]
評 議 員	小 山 公 央	[全 国 総 合 学 科 高 等 学 校 長 協 会	理 事 長]
評 議 員	加 藤 秀 次	[全 国 自 動 車 教 育 研 究 会	会 長]
評 議 員	上 村 肇	[全 国 公 民 科・社 会 科 教 育 研 究 会	会 長]
評 議 員	中 谷 良 平	[(社)日 本 自 動 車 機 械 工 具 協 会	会 長]
評 議 員	武 藤 孝 弘	[(社)日 本 中 古 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会	専 務 理 事]
評 議 員	半 田 茂 哲	[(財)日 本 自 動 車 研 究 所	専 務 理 事]
評 議 員	中 島 哲 夫	[(社)日 本 自 動 車 会 議 所	専 務 理 事]
評 議 員	井 坂 智 夫	[(財)日 本 自 動 車 査 定 協 会	専 務 理 事]
評 議 員	舟 橋 和 幸	[(社)自 動 車 公 正 取 引 協 議 会	専 務 理 事]
評 議 員	小 林 健 二	[日 本 自 動 車 輸 入 組 合	常 務 理 事]
評 議 員	高 畑 敬 信	[(公財)自 動 車 製 造 物 責 任 相 談 セ ン タ ー	常 務 理 事]
評 議 員	吉 田 量 年	[(社)日 本 自 動 車 車 体 工 業 会	専 務 理 事]
評 議 員	西 脇 尚 澄	[(財)自 動 車 検 査 登 録 情 報 協 会	専 務 理 事]
評 議 員	鎌 田 聡	[(公財)国 際 交 通 安 全 学 会	専 務 理 事]
評 議 員	宮 本 晃 雄	[三 井 住 友 海 上 火 災 保 險(株)	常 務 執 行 役 員]
評 議 員	櫻 田 謙 悟	[損 害 保 險 ジャ ー パ ン 日 本 興 亜(株)	代 表 取 締 役 会 長]
評 議 員	隅 修 三	[東 京 海 上 日 動 火 災 保 險(株)	代 表 取 締 役 会 長]
評 議 員	峯 川 尚	[本 田 技 研 工 業(株)	専 務 執 行 役 員]
評 議 員	金 井 誠 太	[マ ツ ダ(株)	代 表 取 締 役 会 長]
評 議 員	益 子 修	[三 菱 自 動 車 工 業(株)	代 表 取 締 役 会 長]
評 議 員	大 川 畑 文 昭	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)	取 締 役 常 務 執 行 役 員]

(以上 22 名)

最高顧問	豊 田 章 一 郎
最高顧問	豊 田 達 郎

3. 会議記録

1) 第9回 理事会

- (1) 日 時 平成 27 年 5 月 25 日 (月) 14:00~15:00
- (2) 場 所 芝パークホテル アゼリア
- (3) 議 案 ①平成 26 年度事業報告及び決算について
②第 4 回定時評議員会開催について
- (4) 報 告 ①平成 27 年度事業進捗状況の報告

2) 第4回 定時評議員会

- (1) 日 時 平成 27 年 6 月 10 日 (水) 16:00~16:40
- (2) 場 所 経団連会館 405 号室
- (3) 議 案 ①議長選出
②議事録署名人選出
③平成 26 年度事業報告および決算について
④評議員の一部選任について
⑤理事および監事の選任について

3) 第10回 理事会

- (1) 日 時 平成 27 年 6 月 10 日 (水) 16:50~17:00
- (2) 場 所 経団連会館 403 号室
- (3) 議 案 ①代表理事・業務執行理事等の選定について

4) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ①評議員辞任につき後任候補者選任の件
②理事辞任につき後任候補者選任の件
③臨時評議員会開催の件
- (2) 提案日 平成 27 年 7 月 1 日 (水)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成 27 年 7 月 8 日 (水)

5) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ①評議員辞任につき後任者選任の件
②理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 平成 27 年 7 月 10 日 (金)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成 27 年 7 月 29 日 (水)

6) 第11回 理事会

- (1) 日 時 平成 28 年 3 月 14 日 (月) 12:00~13:00
- (2) 場 所 芝パークホテル アイリス
- (3) 報 告 ①平成 27 年度事業進捗状況の報告
- (4) 議 案 ①平成 28 年度事業計画および収支予算について
②財団事務局職員の異動について
③今後の理事会・評議員会開催日程について

4. 委員会

1) 委員会の所管事項

(1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

(2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容について審査・選考する事項

(3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及事業に関する事項

2) 委員会委員

平成28年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

(1) 企画委員会 (9名)

委員長	安田 克明	[日産自動車(株)]	渉外部 部長]
副委員長	西田 明生	[トヨタ自動車(株)]	渉外部 渉外室長]
委員	大沼 伸子	[三菱自動車工業(株)]	総務渉外部 エキスパート]
委員	緒方由貴夫	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)]	理事 個人商品部長]
委員	桐生 裕規	[東京海上日動火災保険(株)]	自動車営業開発部長]
委員	田上 裕久	[三井住友海上火災保険(株)]	自動車営業推進部長]
委員	平尾 昌也	[損害保険ジャパン日本興亜(株)]	自動車産業企画部企画グループ 課長]
委員	松島 豊和	[マツダ(株)]	渉外調査部 主幹]
委員	三ヶ尻 裕	[本田技研工業(株)]	渉外部 担当部長]

(2) 審査委員会 (7名)

委員長	小山 実	[日本工業大学]	前教授]
副委員長	花田 隆夫	[(公財)日本自動車教育振興財団]	専務理事]
委員	栗田 博康	[(公財)東京都中小企業振興公社 総合支援部]	人材支援課]
委員	加藤 秀次	[東京都立蔵前工業高等学校]	校長]
委員	島崎 有平	[(一社)日本自動車販売協会連合会]	常務理事]
委員	山田 勝彦	[(公社)全国工業高等学校長協会]	事務局長代行]
委員	安田 克明	[日産自動車(株)]	渉外部 部長]

(3) 事業委員会 (7名)

委員長	島崎 有平	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	常務理事〕
副委員長	齋藤健一郎	〔(一社)日本損害保険協会	生活サービス部長〕
委員	稲垣 昇	〔(一社)日本自動車連盟	交通環境部部長〕
委員	高橋 徹	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	教育・技術部 部長代理〕
委員	古田 憲一	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	二輪業務部 部長〕
委員	松本 行弘	〔(一社)日本自動車工業会	参与 総務統括部長〕
委員	山田 勝彦	〔(公社)全国工業高等学校長協会	事務局長代行〕

①技術教育部会 (8名)

部会長	渡辺 朋栄	〔三菱自動車工業(株)	サービス本部サービスエンジニアリング部マネージャー〕
副部会長	清水 譲二	〔日産自動車(株)	TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外 主査〕
委員	黒田 卓也	〔トヨタ自動車(株)	国内サービス部 総括室 東京サービスグループ〕
委員	角南 光洋	〔本田技研工業(株)	日本営業本部四輪品質サービス部サービス人材育成課 課長〕
委員	亀井 哲治	〔マツダ(株)	国内営業本部 法人営業部 東京法人販売グループ アシスタントマネージャー〕
委員	木村 壮一	〔東京都立総合工科高等学校	機械・自動車科 教諭〕
委員	富山 健治	〔東京都立六郷工科高等学校	オートモビル工学科 教諭〕
委員	山本 義章	〔(一社)日本自動車機械工具協会	校正企画部 企画課 係長〕

②調査普及部会 (9名)

部会長	高橋 信行	〔(一社)日本自動車工業会	業務統括部 副統括部長〕
副部会長	駒崎 源喜	〔トヨタ自動車(株)	渉外部渉外室 担当課長〕
委員	小林 義信	〔(一社)日本自動車会議所	理事〕
委員	志摩 昌彦	〔東京海上日動火災保険(株)	自動車営業開発部 部長〕
委員	高橋 勝也	〔鳴門教育大学大学院	〕
委員	竹村 公一	〔損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株)	自動車コンサルティング開発部部長〕
委員	仲 信之	〔成蹊高等学校	教諭〕
委員	長谷川雅美	〔三井住友海上火災保険(株)	損害サポート業務部 自動車チーム 主任〕
委員	平野 幸夫	〔(一社)日本損害保険協会	生活サービス部 啓発・教育グループ 担当課長〕

③研修部会 (8名)

部会長	廣野 常也	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	調査企画部 部長〕
副部会長	宮腰 直人	〔(一社)日本自動車連盟	交通環境部 事業推進課長〕
委員	安部 敬	〔東京都立小松川高等学校	公民科教諭〕
委員	尾棹 典昭	〔本田技研工業(株)	渉外部 担当部長〕
委員	木舟 作楽	〔(一社)日本損害保険協会	生活サービス部啓発教育グループリーダー〕
委員	田中 篤司	〔専門学校 日産横浜自動車大学校	校長〕
委員	古田 憲一	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	二輪業務部 部長〕
委員	八木橋稔之	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	法務部次長〕

3) 委員会・部会 会議実績

(1) 企画委員会

- ①第10回 平成27年5月13日(水) 14:00~15:30
議題 ①第9回理事会提案資料について
②第4回定時評議員会提案資料について
- ②第11回 平成27年11月4日(水) 14:00~15:30
議題 ①平成27年度上期財団事業進捗状況について
- ③第12回 平成28年3月1日(火) 14:00~15:30
議題 ①第11回理事会提案資料について

(2) 審査委員会

- ①第4回 平成27年8月7日(金) 12:00~14:00
議題 ・平成27年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考
(支援対象校及び支援内容の決定)

(3) 事業委員会

- ①第7回 平成27年10月30日(金) 15:00~16:30
議題 ①平成27年度上期財団事業進捗状況について
- ②第8回 平成28年2月24日(水) 15:00~16:30
議題 ①平成27年度事業進捗状況及び平成28年度事業計画(案)について

(4) 技術教育部会

- ①第13回 平成27年5月18日(月) 15:30~16:50
議題 ①平成27年度自動車教育用教材の公募案内について
②平成26年度教材提供校自動車教育用教材活用状況について
③平成27年度技術系講師派遣について
- ②第14回 平成27年7月27日(月) 15:30~16:50
議題 ①平成27年度教材提供活動応募状況の報告
②平成27年度審査委員会提案内容説明と確認
③平成27年度技術系講師派遣応募・実施状況の報告
- ③第15回 平成27年10月27日(火) 15:30~16:50
議題 ①平成27年度技術教育支援事業・上期実績報告
②平成27年度技術系講師派遣状況について
- ④第16回 平成28年2月15日(月) 15:15~16:30
議題 ①平成28年度財団事業計画(案)について
②平成28年度技術教育支援事業計画(案)について
③平成28年度技術系講師派遣メニュー(案)について
④平成28年度自動車教育用教材メニュー(案)について

(5) 調査普及部会

- ①第7回 平成27年10月23日(金) 15:00~16:30
議題 ①平成27年度 調査研究事業の進捗状況について
②平成27年度 普及啓発事業の進捗状況について
- ②第8回 平成28年2月19日(金) 15:00~16:30
議題 ①平成28年度 財団事業計画(案)について
②平成28年度 調査研究事業計画(案)について
③平成28年度 普及啓発事業計画(案)について

(6) 研修部会

- ①第7回 平成27年10月26日(月) 15:00~16:30
議題 ①平成27年度 研修事業上期進捗状況について
- ②第8回 平成28年2月9日(火) 15:00~16:30
議題 ①平成28年度 財団事業計画(案)について
②平成28年度 研修事業計画(案)について

※上記の委員会・部会開催実績における開催回は、公益財団法人移行後(平成24年4月~)の通算回数を表記した。

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、日本自動車連盟支部、軽自動車協会、日本損害保険協会支部(一部地域は中古自動車販売協会を含む)により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各県の高等学校を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、全国組織である自動車教育財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

「自動車教育推進協議会」設置状況一覧表

平成28年3月31日現在

名 称	設置年月日 (平成)	会 長	事 務 局	
			事務局長	所在地 (連絡先)
1 北海道自動車教育推進協議会	13. 1.10	杉本 互	福田 昇	札幌市東区北28条東1-2-3 札幌自動車会館 (Tel. 011-753-5162)
2 青森県自動車教育推進協議会	8. 5.17	小野 大介	牧野 健一	青森市奥野 1-12-3 (Tel. 017-776-4211)
3 岩手県自動車教育推進協議会	14. 3.20	渡邊 康喜	山口 正	紫波郡矢巾町流通センター南 2-8-3 (Tel. 019-637-2881)
4 宮城県自動車教育推進協議会	12.11. 1	小林 正樹	菊池 憲満	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館 (Tel. 022-232-1571)
5 福島県自動車教育推進協議会	12.12. 1	佐藤 修朗	宮村 和男	福島市吉倉字名倉 1-1 (株)福島自販会館 (Tel. 024-546-1664)
6 秋田県自動車教育推進協議会	12.11. 1	三浦 廣巳	小松 龍夫	秋田市八橋大畑 2-12-55 (Tel. 018-862-1117)
7 山形県自動車教育推進協議会	12.11. 1	小関 眞一	松田 憲幸	山形市大字漆山字行段 1422 (Tel. 023-686-4521)
8 新潟県自動車教育推進協議会	13.11. 1	遠藤 佳彦	小林 正美	新潟市中央区東出来島 11-16 新潟県自動車会館 (Tel. 025-285-6286)
9 (一社)長野県自動車販売店協会	13. 5.23	宇都宮 進一	上原 英二	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館 (Tel. 026-226-5416)
10 茨城県自動車教育推進協議会	14.10. 1	幡谷 定俊	市川 昌幸	水戸市住吉町 292-5 茨城県自動車会館 (Tel. 029-247-4860)
11 栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	新井 祥司	鈴木 忠明	宇都宮市今宮 2-4-6 栃木県自動車会館 (Tel. 028-658-8811)
12 群馬県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	都丸 正樹	星野 朗	前橋市野中町 564 群馬自販会館 (Tel. 027-261-0830)
13 埼玉県自動車教育推進協議会	18.10. 1	平沼 一幸	山根 博安	さいたま市西区大字中釘 2255 (株)埼玉自販会館 (Tel. 048-623-1211)
14 千葉県自動車教育推進協議会	14. 4. 1	加藤 勇	芝入 徳夫	千葉市美浜区新港 207 (Tel. 043-242-3321)
15 東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	金子 繁則	福田 信行	品川区西五反田 4-32-9 東京日産西五反田ビル1号館3F (Tel. 03-3491-8241)
16 神奈川県自動車教育推進協議会	14.10. 1	上野 健彦	山田 徹	横浜市都筑区池辺町 3663 神奈川県自販会館 (Tel. 045-933-3626)
17 山梨県自動車教育推進協議会	15. 5.30	田中 好輔	興石 光彦	笛吹市石和町唐柏 1000-7 山梨県自動車販売店会館 (Tel. 055-263-3001)
18 富山県自動車教育推進協議会	12.12. 1	黒澤 敏	上田 久夫	富山市新庄町字馬場 18-8 富山県自販会館 (Tel. 076-425-8353)
19 石川県自動車教育推進協議会	12.12. 1	要明 英二	田賀 勝	金沢市入江 3-134 石川県自動車販売店会館 (Tel. 076-291-7111)
20 福井県自動車教育推進協議会	12.12. 6	多田 伸	酒井 定雄	福井市西谷 1-1401 福井県自動車会館 (Tel. 0776-34-1622)
21 岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	村瀬 洋介	小野 武	岐阜市日置江 2648-2 岐阜自動車会館 (Tel. 058-279-3761)
22 静岡県自動車教育推進協議会	16. 2.18	杉山 智彦	平川 君男	静岡市駿河区国吉田 2-4-35 静岡県自販会館 (Tel. 054-261-2177)
23 愛知県自動車教育推進協議会	15.10. 1	小栗 一朗	大林 嘉明	名古屋市中川区昭和橋通 4-8-2 愛知県自販会館 (Tel. 052-353-6161)
24 三重県自動車教育推進協議会	13. 3.10	岩井 純朗	松尾 元弘	津市震出長常町字六ノ割1190-1 三重県自動車会館 (Tel. 059-234-4567)
25 滋賀県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	山中 隆太郎	塚本 治雄	守山市木浜町 2299-12 滋賀県自販会館 (Tel. 077-585-7292)
26 京都府自動車教育推進協議会	14. 9. 1	森川 莫臣	小寺 雅夫	京都市伏見区竹田向代町 51-5 京都自動車会館 (Tel. 075-671-6121)
27 大阪府自動車教育推進協議会	18.11. 1	堀内 俊樹	柳田 重利	寝屋川市高宮栄町 13-1 (Tel. 072-821-5522)
28 兵庫県自動車教育推進協議会	13. 7. 1	西川 博之	藤原 義之	神戸市東灘区魚崎町 33 兵庫県自動車会館 2F (Tel. 078-441-1501)
29 奈良県自動車教育推進協議会	15. 3. 1	菊池 攻	辻 隆範	大和郡山形市額田部北町 981-8 奈良県自動車会館内 (Tel. 0743-56-8458)
30 和歌山県自動車教育推進協議会	12.11. 1	熊切 秀昭	藪田 偉	和歌山市湊 1106 和歌山県自動車会館 (Tel. 073-422-2027)
31 鳥取県自動車教育推進協議会	15. 4.14	大月 徹	川瀬 芳美	鳥取市丸山町 246-1 (Tel. 0857-24-6171)
32 島根県自動車教育推進協議会	14.11. 1	野々村 健造	久保田 茂実	松江市馬渡町 43-4 (Tel. 0852-37-0044)
33 岡山県自動車教育推進協議会	14.11. 1	山口 洋之	谷本 博志	岡山市北区富吉 5301-8 (株)岡山県自動車会館2F (Tel. 086-259-3000)
34 広島県自動車教育推進協議会	11. 9. 1	上野 弘文	藤原 弘登	広島市西区観音新町 4-13-13-3 広島県自動車会館 (Tel. 082-232-4418)
35 山口県自動車教育推進協議会	11. 3. 1	末富 喜昭	小林 繁	山口市葵 1-5-58 山口県自動車会館 (Tel. 083-922-0909)
36 徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	河野 宏	武田 耕二	徳島市志神町志神産業団地 1-6 徳島県自動車会館 (Tel. 088-641-2665)
37 香川県自動車教育推進協議会	17. 1. 1	灘波 博司	森 幹男	高松市香西東町 278-1 (Tel. 087-881-4996)
38 愛媛県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	岡 豊	高田 昌資	松山市森松町 1075-2 (Tel. 089-956-2747)
39 高知県自動車教育推進協議会	15. 7.29	西山 忠利	秋山 教二郎	高知市大津乙 1879-5 高知県自動車会館 (Tel. 088-866-6000)
40 福岡県自動車教育推進協議会	13.12. 1	金野 誠	古賀 敏行	福岡市東区千早 3-9-23 福岡交通会館 (Tel. 092-681-5963)
41 佐賀県自動車教育推進協議会	13. 8. 1	前田 博憲	本村 修紹	佐賀市若楠 2-7-1 佐賀県自販会館 (Tel. 0952-31-1335)
42 長崎県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	円田 浩司	古田 和幸	長崎市中里町 1576-7 長崎県自販連会館 (Tel. 095-839-2611)
43 熊本県自動車教育推進協議会	12.11. 1	與縄 義昭	山根 法生	熊本市東区東町 4-14-8 熊本県自動車会館 (Tel. 096-365-0638)
44 大分県自動車教育推進協議会	10. 6.15	渡邊 教和	弥田 達美	大分市大津町 3-4-13 大分県交通会館1F (Tel. 097-558-7791)
45 宮崎県自動車教育推進協議会	15. 7.11	佐土嶋 恒夫	中武 光博	宮崎市大字本郷北方字鶴尾 2735-25 宮崎県自販会館 (Tel. 0985-51-8255)
46 鹿児島県自動車教育推進協議会	14. 3. 1	諏訪 秀治	町田 昇二	鹿児島市谷山港 2-4-9 鹿児島県自動車会館 (Tel. 099-262-0011)
47 沖縄県自動車教育推進協議会	8. 2.14	堀川 恭進	平良 幸生	浦添市港川 512-8 沖縄県自動車会館 (Tel. 098-877-5225)

〔Ⅲ〕 事業活動

1. 自動車技術教育支援事業

1) 機材提供活動

公募に向けて、自動車技術教育用教材メニューの更なる充実を図る為、従来の28メニューに1メニュー追加を行なった。具体的には、昨年要望があった電装品（灯火器）シミュレーターボードのメニューを追加した。

公募は、15府県307校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会または全国自動車教育研究会に加盟している高校）を対象に実施し、101校から応募申請があった。

これらの応募申請について、8月7日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、15府県、101校の高校に自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は、10月～3月にかけて各高校へ発送を行い、平成28年度以降、各校の教育現場にて活用いただく予定である。

(1) 平成27年度 自動車技術教育用教材メニュー 一覧

学習区分	記号	機 材 名
視聴覚 教材	1	自動車の基礎・電気
	2	自動車の機械基礎
	3	エンジンの作動原理
	4	駆動・制動装置
	5	動力伝達装置
	6	走行装置とかじ取り装置
	7	ディーゼルエンジン燃料装置
	8	自動車の電気・電子技術
	9	自動車の新技術
	10	eTOOLBOX ハイブリッド自動車編
初級教材	11	動く掛図教材（4サイクル・2サイクル）
	12	分解組立用エンジン（汎用・126cc）
	13	分解組立用キャブレターエンジン
	14	分解組立用電子制御エンジン（軽自動車）
	15	分解組立用電子制御エンジン（小型車）
	16	実習用工具セット
	17	実習用工具トルクレンチ
	18	急速充電器
	19	低床型手動ジャッキ足踏付 2t
20	エンジンスタンド簡易型	
中級教材	21	エンジンテスターセット
	22	トランスミッション
	23	電子ブロック実験装置
	24	燃料電池実験キット
	25	ビデオスコープ
	26	電装品（灯火器）シミュレーターボード
上級教材	27	実車（中古車）
	28	エンジン実習装置
	29	外部故障診断機（スキャンツール）

(2) 応募及び審査結果

公募地域 (C地区)	青森、岩手、宮城、福島、茨城、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀 京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山 合計15府県 (対象校は307校)	
応募校数	15府県、101校	
支援校数	15府県、101校 (提供校の詳細は15頁の提供校 一覧表をご参照方)	累計支援校数 1,629校 (平成3年からの累計数)

(3) 自動車教育用教材活用報告書について

平成25年度に教材提供を受けた高校を対象に、平成26年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。その内容は活用報告書としてまとめ、技術教育部会にて報告すると共に、今後の教材提供活動の参考資料とした。

教材区分	教材名	提供校数	年間総使用(平均)		
			活用対象生徒数 (人/1校あたり)	年間総使用回数 (回/1校あたり)	年間総使用日数 (日/1校あたり)
視聴覚教材	自動車の基礎・電気	6	32	6	6
	自動車の機械基礎	0			
	エンジンの作動原理	4	63	13	13
	駆動・制動装置	0			
	動力伝達装置	1	130	32	32
	走行装置とかじ取り装置	0			
	ディーゼルエンジン燃料装置	0			
	自動車の電気・電子技術	1	79	20	20
	自動車の新技術	0			
	e TOOLBOX ハイブリッド自動車編	2	100	8	8
	動く掛図教材(4サイクル・2サイクル)	11	222	18	14
初級	分解組立用エンジン(汎用・126cc)	20	58	29	21
	分解組立用キャブレター式エンジン	1	35	28	28
	分解組立用電子制御エンジン(軽自動車)	4	53	13	13
	分解組立用電子制御エンジン(小型車)	6	80	49	30
	実習用工具セット	8	54	40	37
	実習用工具トルクレンチ	2	43	5	5
	急速充電器	5	60	41	41
中級	低床型手動ジャッキ足踏み2t	1	80	24	24
	エンジンテスターセット	0			
	トランスミッション	0			
	電子ブロック実験装置	3	75	23	21
	燃料電池実験セット	1	62	8	8
上級	ビデオスコープ	0			
	実車(中古車)	5	77	48	44
	エンジンベンチ	3	56	33	33
	故障診断機	1	10	2	2
	合計(平均)	85	82	27	23

(注) 平成25年度の提供校数合計は86校であったが、内1校は学校の都合により平成27年度から提供教材活用することとなったため、上表の提供校合計は85校となっている。

2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、汎用エンジン・分解組立用エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

分解組立用エンジンを提供した12校に対しては、教材納入が始まる11月に、専門指導員による指導内容を撮影・編集した「分解・組立DVDビデオ」を提供した。

また、汎用エンジンを提供した20校に対しては、教材納入時(10月)に同エンジン製造メーカーの専門家が各提供校へ訪問し、エンジン教材の活用方法や安全管理等に関する指導教諭へのアドバイスをを行った。

(1) 「分解・組立DVDビデオ」の提供校

	高等学校名
1	青森山田高等学校
2	宮城県加美農業高等学校
3	福島県立勿来工業高等学校
4	愛知県立小牧工業高等学校
5	愛知県立豊橋工業高等学校(定時制)
6	岐阜県立岐阜工業高等学校
7	松翠学園 岐阜第一高等学校
8	滋賀県立彦根工業高等学校
9	大阪府立茨木工科高等学校(定時制)
10	大阪市立泉尾工業高等学校
11	兵庫県立尼崎工業高等学校
12	和歌山県立和歌山工業高等学校

(2) 訪問指導実施校

	学校名	実施日
1	名古屋市立工芸高等学校	10月15日
2	享栄高等学校	10月15日
3	三重県立伊勢工業高等学校	10月15日
4	茨城県立つくば工科高等学校	10月21日
5	茨城県立取手第一高等学校	10月21日
6	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	10月22日
7	大阪府立東住吉総合高等学校	10月22日
8	奈良県立奈良朱雀高等学校	10月22日
9	尼崎市立尼崎工業高等学校(定時制)	10月22日
10	大阪府立淀川工科高等学校	10月23日
11	星翔高等学校	10月23日
12	滋賀県立瀬田工業高等学校	10月23日
13	青森県立弘前工業高等学校	10月27日
14	青森県立八戸工業高等学校	10月27日
15	仙台市立仙台工業高等学校	10月28日
16	宮城県黒川高等学校	10月28日
17	宮城県登米総合産業高等学校	10月28日
18	宮城県石巻工業高等学校	10月28日
19	福島県立福島工業高等学校	10月30日
20	福島県立会津工業高等学校	10月30日

3) 協賛支援活動

協賛支援活動として、下記の第 58 回全国自動車教育研究大会を支援した。

名 称	第 58 回全国自動車教育研究大会
主 催	全国自動車教育研究会
目 的	高等学校・高等専門学校 of 自動車関連学科における自動車教育に関わる教職員の資質向上と自動車教育の振興と発展を図る。
参加者	全国高等学校における自動車教育関係職員 約 90 名
開催時期	平成 27 年 10 月 22 日(木)～23 日(金) (於：愛知県 HOTEL ヴェラ王山)
協賛金	1,500,000 円

4) 交流促進活動

自動車技術教育用教材の提供対象 15 府県については、全県で教材贈呈式及び教育懇談会を実施した。そこでは、教材提供を受けた高校の校長・担当教諭を始めとする教育関係者と、自動車教育推進協議会のメンバーによる、自動車技術教育の現状と課題についての熱心な情報交換が行われ、今後の自動車教育推進の参考となる実り多い会合となった。

(参加者の詳細は、39～45 頁の【資料 2】をご参照方)

[贈呈式・教育懇談会開催一覧]

地域	校数	開催日	開催場所	参加人数		
				協議会	学校関係	計
青森	11	10月29日 木	青森県自動車会議所	6	20	26
岐阜	4	11月6日 金	ホテルリソル岐阜	9	7	16
福島	9	11月9日 月	福自販会館	7	17	24
静岡	6	11月10日 火	ホテルセンチュリー静岡	10	11	21
岩手	2	11月12日 木	ホテルメトロポリタン盛岡	2	3	5
宮城	13	11月13日 金	ホテルメトロポリタン仙台	8	21	29
大阪	12	11月18日 水	リーガロイヤル大阪	8	21	29
京都	2	11月20日 金	東急ホテル京都	3	4	7
滋賀	3	11月25日 水	琵琶湖ホテル	7	6	13
奈良	3	11月27日 金	奈良県立奈良朱雀高等学校	3	7	10
三重	7	12月2日 水	ホテルグリーンパーク津	7	10	17
愛知	10	12月3日 木	キャッスルブラザ	8	18	26
茨城	7	12月8日 火	茨自販福祉センター	9	10	19
和歌山	2	12月8日 火	和歌山県立和歌山工業高等学校	2	4	6
兵庫	10	12月14日 月	ANAクラウンプラザホテル神戸	8	16	24
合計	101			97	175	272

平成27年度
自動車教育用教材提供校一覧表

分類番号	県名	学校名	機材名	数量	分類番号	県名	学校名	機材名	数量
K01	青森	1 青森県立青森工業高等学校	電装品 (灯火器) シュミレータボード	1セット	K52	愛知	4 愛知県立刈谷工業高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台
K02		2 青森県立弘前工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K53		5 愛知県立豊橋工業高等学校(定)	分解組立用キャブレターエンジン	2台
K03		3 青森県立八戸工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K54		6 名古屋市立工業高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台
K04		4 青森県立五所川原工業高等学校	実習用工具セット	4セット	K55		7 名古屋市立工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K05		5 青森県立十和田工業高等学校	急速充電器	1台	K56		8 愛知産業大学工業高等学校	視聴覚教材 エンジンの作動原理	1セット
K06		6 青森県立むつ工業高等学校	実車 (中古車)	1台	K57		9 茅渚高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K07		7 青森山田高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K58		10 名古屋工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット
K08		8 八戸学院光星高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台	K59		1 岐阜県立岐南工業高等学校	エンジン実習装置	1台
K09		9 弘前東高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台	K60		2 岐阜県立岐阜工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (軽自動車)	4台
K10		10 八戸工業大学第一高等学校	エンジンスタンド(簡易型)	4台	K61		3 岐阜県立高山工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個
K11		11 八戸学院野辺地西高等学校	ビデオスコープ	1台	K62		4 岐阜第一高等学校	分解組立用電子制御エンジン (軽自動車)	4台
K12	岩手	1 岩手県立大船渡東高等学校	エンジンスタンド(簡易型)	4台	K63	三重	1 三重県立桑名工業高等学校	実習用工具セット	4セット
K13		2 岩手県立福岡工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット	K64		2 三重県立四日市工業高等学校	エンジン実習装置	1台
K14	宮城	1 宮城県村田高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個	K65		3 三重県立四日市工業高等学校(定)	トランスミッション	2台
K15		2 宮城県登米総合産業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K66		4 三重県立津工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個
K16		3 宮城県黒川高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K67		5 三重県立松阪工業高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台
K17		4 宮城県伊具高等学校	実習用工具セット	4セット	K68		6 三重県立伊勢工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K18		5 宮城県加美農業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K69		7 三重県立伊賀白鳳高等学校	動く掛図教材 (4サイクル・2サイクル)	1セット
K19		6 宮城県小牛田農林高等学校	実習用工具セット	4セット	K70	滋賀	1 滋賀県立瀬田工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K20		7 宮城県気仙沼海洋高等学校	エンジンスタンド(簡易型)	4台	K71		2 滋賀県立彦根工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台
K21		8 宮城県工業高等学校	視聴覚教材 エンジンの作動原理	1セット	K72		3 滋賀県立長浜北星高等学校	急速充電器	1台
K22		9 宮城県石巻工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K73	京都	1 京都府立田辺高等学校	実車 (中古車)	1台
K23		10 宮城県古川工業高等学校(定)	実習用工具セット	4セット	K74		2 京都府立工業高等学校	急速充電器	1台
K24		11 宮城県第二工業高等学校(定)	実習用工具トルクレンチ	4個	K75	大阪	1 大阪府立松原高等学校	視聴覚教材 自動車機械・基礎	1セット
K25		12 仙台市立仙台工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K76		2 大阪府立淀川工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K26		13 仙台市立仙台工業高等学校(定)	視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット	K77		3 大阪府立茨木工科高等学校(定)	分解組立用キャブレターエンジン	2台
K27	福島	1 福島県立福島工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K78		4 大阪府立布施工科高等学校	実習用工具セット	4セット
K28		2 福島県立川俣高等学校	実習用工具セット	4セット	K79		5 大阪府立堺工科高等学校	実車 (中古車)	1台
K29		3 福島県立二本松工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット	K80		6 大阪府立東住吉総合高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K30		4 福島県立白河実業高等学校	実習用工具セット	4セット	K81		7 大阪府立和泉総合高等学校(定)	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台
K31		5 福島県立塙工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個	K82		8 大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K32		6 福島県立会津工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K83		9 堺市立堺高等学校 (定)	視聴覚教材 走行装置とかじ取り装置	1セット
K33		7 福島県立喜多方桐桜高等学校	実習用工具セット	4セット	K84		10 大阪市立泉尾工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (軽自動車)	4台
K34		8 福島県立勿来工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K85		11 大阪市立東淀工業高等学校	視聴覚教材 動力伝達装置	1セット
K35		9 若松第一高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台	K86		12 星翔高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K36		茨城	1 茨城県立高萩清松高等学校	視聴覚教材 自動車機械・基礎	1セット	K87	兵庫	1 兵庫県立兵庫工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気
K37	2 茨城県立日立工業高等学校		視聴覚教材 エンジンの作動原理	1セット	K88	2 兵庫県立尼崎工業高等学校		分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台
K38	3 茨城県立水戸工業高等学校		急速充電器	1台	K89	3 兵庫県立武庫荘総合高等学校		視聴覚教材 動力伝達装置	1セット
K39	4 茨城県立江戸崎総合高等学校		外部故障診断機 (スキャンツール)	1台	K90	4 兵庫県立東播工業高等学校		電装品 (灯火器) シュミレータボード	1セット
K40	5 茨城県立取手第一高等学校		分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K91	5 兵庫県立姫路工業高等学校		外部故障診断機 (スキャンツール)	1台
K41	6 茨城県立つくば工科高等学校		分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K92	6 兵庫県立飾磨工業高等学校		視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット
K42	7 茨城県立八千代高等学校		視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット	K93	7 兵庫県立飾磨工業高等学校(多)		実習用工具トルクレンチ	4個
K43	静岡	1 静岡県立沼津工業高等学校(定)	動く掛図教材 (4サイクル・2サイクル)	1セット	K94	8 兵庫県立洲本実業高等学校	動く掛図教材 (4サイクル・2サイクル)	1セット	
K44		2 静岡県立吉原工業高等学校	実習用工具セット	4セット	K95	9 尼崎市立尼崎工業高等学校(定)	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	
K45		3 静岡県立島田工業高等学校	電子ブロック実験装置	1セット	K96	10 神戸市立神戸工科高等学校(定)	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台	
K46		4 静岡県立小笠高等学校	視聴覚教材 エンジンの作動原理	1セット	K97	奈良	1 奈良県立奈良朱雀高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K47		5 静岡県立浜松湖北高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台	K98		2 奈良県立王寺工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット
K48		6 静岡高等学校	動く掛図教材 (4サイクル・2サイクル)	1セット	K99		3 奈良県立御所実業高等学校	実習用工具セット	4セット
K49	愛知	1 愛知県立小牧工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K100	和歌山	1 和歌山県立和歌山工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (軽自動車)	4台
K50		2 愛知県立起工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個	K101		2 和歌山県立箕島高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気	1セット
K51		3 愛知県立豊田工業高等学校	外部故障診断機 (スキャンツール)	1台					

< 県別内訳 >

青森 11校 岩手 2校 宮城 13校 福島 9校 茨城 7校 静岡 6校 愛知 10校 岐阜 4校
三重 7校 滋賀 3校 京都 2校 大阪 12校 兵庫 10校 奈良 3校 和歌山 2校

合計 15府県 101校

2.調査研究事業

1) 調査活動

若者のクルマに対する関心低下の課題を踏まえ、高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内外の交通調査を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

(1) 海外調査の実施

第1回目の調査は7月に、環境先進国であるドイツにおける次世代自動車（電気自動車や燃料電池自動車）のインフラ整備状況や、そのインフラ整備に際しての再生可能エネルギー活用状況を調査した。この調査に際して、自動車関係団体・企業、エネルギー問題専門家など6名の参加を得て調査団を組織した。調査団を組織したのは公益財団法人に移行して初めてである

ドイツでは再生可能エネルギーの余剰電力を活用してガス（水素ガス、メタンガス）を生成する Power to Gas プロジェクトが推進されている。その一つが Audi の e-gas 工場（2013年稼働）である。ここでは、風力発電の余剰電力を使って水を電気分解して水素を生成し、その水素に同工場内にあるバイオガスプラントで発生した二酸化炭素を化合させて合成メタンガス（e-gas）を作り出している。このメタンガスは全国に張り巡らされた天然ガスパイプラインを通じて社会全体に行き渡らせたり、Audi のメタンガス車 A3 g-tron の燃料として供給している。

次に、電気自動車普及の問題点の一つである充電場所不足の問題に対し、ベンチャー企業 Ubitricity 社による街灯を充電スポットとして活用する仕組みを視察した。このシステムは既存の街灯や駐車場等の壁面に簡単にソケットを取り付けることができ、従来の充電設備に比べ格段に安く設置できる。また、専用のケーブル（SIMカード内蔵）を差し込めば、いつ誰がどれだけの電気を充電したかを即座に把握し料金精算できるものとなっている。道路や街灯を管理する自治体との調整さえうまくいけば一気に充電スポットが拡大する可能性を秘めている仕組みであることがわかった。

第2回目の調査は、11月下旬から12月上旬にかけてイタリアの交通事情を調査した。イタリアは歴史ある都市が多く史跡が残るため、日本と同様に市街地は狭い通りが多い。その状況下で交通需要マネジメントを行い市街地の自動車交通の整序化を図る一方、LRT（次世代型路面電車）を建設するなどの取り組みを行っている。こうしたクルマ交通の規制を行いつつも自動車大国（人口当たり自動車保有台数は欧州一）としての位置づけを保っているイタリアでの交通実情を調査し、我が国の交通施策を考える上での知見を得るのが目的である。

今回訪問した都市（ローマ、フィレンツェ、ミラノ、パドバ、フェッラーラ）をはじめ、イタリアの多くの都市では ZTL（Zona a Traffico Limitato）という中心市街地への交通規制を設定している。都市により規制内容には差があるが、概ね、平日の日中は公共交通機関、タクシー、居住者の車両以外の ZTL 区域内への車両乗り入れを禁止、または有料化（エリアプライシングの考え方）するというものである。特徴的なのは、単にクルマを規制するだけではなく、ZTL 周辺部での駐車場整備、LRT の敷設、LRT 郊外駅での P&R 駐車場整備などクルマユーザーの利便性をなるべく損なわないような施策とセットで実施していることが把握できた。

また、ポンペイなど古代ローマ時代の遺構では2千年も前から段差のある歩道が設けられ、中世の建物ではポルティコという歩行者用の天蓋付き歩道が設けられるなど、歩行者と馬車交通を分離する考え方、歩車双方の利便性を考慮した交通の考え方が古くから根付いていることがわかる。このような概念を基本に据えた都市計画づくりを行ってきた長い歴史が今日のイタリアの都市の交通計画に活かされていることがわかった。

【海外調査の概要】

	第1回目	第2回目
日程	平成27年7月12日(日)～22日(水)	平成27年11月23日(月)～12月6日(日)
テーマ	欧州における次世代自動車(EV・FCV)のインフラの動向	イタリアの古都市での交通需要マネジメント等の交通施策
調査先	ドイツ(ベルリン、ヴェルルテ) オランダ(アムステルダム)	イタリア(ローマ、フィレンツェ、ミラノ、パドバ、フェッラーラ)
調査の様子	 <p>▲ベルリン：街灯を活用した電気自動車充電スポット</p>  <p>▲ヴェルルテ：再生エネルギーを活用したアウディの人工天然ガス製造工場</p>  <p>▲アムステルダム：路上駐車帯での充電スポット</p>	 <p>▲ミラノ：ZTL(交通規制区域)は許可車両以外は進入禁止</p>  <p>▲フィレンツェ：超小型EVはバイクと同じカテゴリー・規制を適用</p>  <p>▲パドバ：トラムの停留所近くにはP&R駐車場を整備</p>


(2) 国内調査の実施

国内の交通事情調査を3回実施した。第1回目は4月に、東京都の自転車政策を調査した。東京都では2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え環境都市をめざす観点から自転車利用環境の整備強化方針を打ち出しているが、都の「自転車走行空間整備推進計画」では、その対象は都道のみであり、国道や区道も含めた“街づくり”としての自転車走行空間整備ビジョンが欠けている状態である。今年設置された都内の国道246号線の自転車ナビラインを実際に走行し調査した結果、“街づくり”としての自転車走行空間整備ビジョンがなく、全体を統括するリーダーがないことにより、実効性のある自転車政策を遂行できない実態が明らかになった。

第2回目は8月に、下水バイオガスから水素を製造する実証実験を行っている福岡市を調査した。一般的に、水素は天然ガスを原料とした水蒸気改質法や水の電気分解法によって製造されており、水素製造段階で多くの二酸化炭素を排出している。福岡市の取り組みは、下水処理過程で付随的に発生するバイオガスを原料にしているため、CO2 ニュートラルな水素を製造することができる。真の水素社会実現のために非常に有効な技術であることがわかった。

第3回目は11月と1月に、新潟市のBRT (Bus Rapid Transit : バス高速輸送システム) を調査した。BRTは、近年、世界中で注目を集めている新交通システムで、交通の優先権としての専用車線を利用し、スムーズな乗降が可能で、一度に多くの乗客を運べることなどが特徴となっている。2015年9月にBRTの運行を開始したばかりの新潟市の状況を探り、日本でBRTを導入する際の課題について調査した。日本では道路インフラ整備とバス運行の両面で一括運営する責任体制に欠けていることから、BRTの特性である速達性、定時制、大量輸送性を発揮しづらい実態が明らかになった。

【国内調査の概要】

	第1回目	第2回目	第3回目
日程	4月3日(金)	8月4日(火)~5日(水)	11月11日(水)、1月21日(木)~22日(金)
テーマ	五輪に向けた東京都の自転車政策動向	水素社会の実現に向けたインフラ整備の取り組み	地方都市におけるBRTの活用状況
調査先	東京都	福岡県	新潟県
調査の様子	 <p>▲都内の自転車走行環境</p>	 <p>▲バイオガス由来の水素ステーション</p>	 <p>▲新潟市のBRT</p>

(3) 高校生のクルマに関する意識調査の実施

財団では、高校生の今の関心事項や価値観、クルマに対する意識を把握すべく、2013年に初めてWebでのアンケート調査を実施した。その後の動向を把握するため、2015年11月に第2回目のアンケート調査を実施し、財団の各部会・委員会にて報告した。調査対象は、首都圏、京阪神圏、九州圏の高校生300名(各地域100名)である。

調査結果では、クルマ以外の関心事が増えて高校生のクルマに対する関心度が相対的に低い状況に変化はないものの、2年前よりはクルマに対する関心がやや持ち直している。特に首都圏や京阪神圏の男性でクルマへの関心度が前回より10ポイント以上の高まりをみせている。こうした関心度の高まりにより、前は「いつかはクルマの免許をとりたい」という回答が多かったが、今回は「高校を卒業したらクルマの免許をとりたい」という回答が増え、免許取得がより現実味を帯びてきている。

その一方で、将来クルマを欲しいと回答した人は82%と、前回よりやや減少している。特に首都圏の男性でクルマの購入意向が低下している結果となった。その理由として挙げられたのが、「クルマを維持するには税金や駐車場などのお金がかかるから」が55%と最も多く、クルマへの関心はあるものの、経済的理由でクルマをあきらめていることがわかった。

2) 教材作成活動

(1) 記事の作成

海外調査の結果については、調査報告書を作成し財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、財団業務報告紙（『JAEF REPORT』）にて財団関係者へ概要を報告した。また、広報誌『Traffi-Cation』の掲載記事「海外交通事情報告」（2 ページもの）として記事化した。また、国内調査の結果は広報誌『Traffi-Cation』の特集記事（5 ページもの）として記事化した。

(2) 副教材の提供

① 社会科用の新副教材の作成

地歴公民科（現代社会、政治経済、地理）向けの副教材「クルマを通じて社会を考える」を新たに制作し、平成 27 年 1 月、及び 4 月に全国の高校に FAX で告知を行なった。従来の副教材（くらしシリーズ）を大幅に上回る先生方から申し込みをいただき、平成 27 年度は約 540 名の先生方に提供を行なった。

② 既存副教材の提供

昨年に引き続き、『くらしと交通安全』『くらしと交通』シリーズ（Vol.1～Vol.5）『くらしと地球環境』シリーズ（Vol.1～2）『別冊 Traffi-Cation 国内交通事例特集』シリーズ（Vol.1～4）および『別冊 Traffi-Cation 海外交通事情報告』シリーズ（Vol.1～4）の告知・提供を行なった。

全国公民科・社会科教育研究会全国大会（8 月）にて財団活動や副教材の告知を実施した。また、ホームページ、広報誌、JAEF 研修会（年 4 回開催、参加者約 200 名）、および教育懇談会（15 府県で実施）で副教材告知を実施。この結果、平成 27 年度は新副教材と合せ 1,130 冊提供することができた。

3.研修事業

1) 財団研修活動

財団は、文部科学省及び各開催都県の教育委員会の後援並びに各高等学校教育関係団体から協賛を得て、「環境・技術」・「交通安全」を研修テーマに JAEF 研修会（高等学校の教諭を対象に財団が主催する研修会）を、首都圏、中部圏、関西圏の3地域で計4回開催した。高等学校教諭とオブザーバー合計で200名が参加し、参加者からは大変高い評価をいただくことができた。（参加者アンケートの「大変良い」と「良い」の合計の割合は95%）

なお、平成4年から開催している同研修会の累計開催回数は103回、延べ参加者は約3,900名となった。

【平成27年度 JAEF 研修会開催実績】

回数	月日と会場	講演テーマ、講師および見学施設	参加者数	後援/協賛
第1回	7月28日(火) 川崎重工業(株) 明石工場 (兵庫県明石市)	(講演) ・「安定した車体挙動を術減する二輪車技術の紹介」 ～Ninja H2/H2Rの技術～ 川崎重工業(株) モーターサイクルエンジン技術本部 第一設計部第一課 基幹職 市 聡頭 氏 (見学) ・同社明石工場モーターサイクル組立工場及び モーターサイクル歴史車館	46名	文部科学省 兵庫県教育委員会 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会
第2回	8月28日(水) トヨタ交通安全センター モビリティ (静岡県駿東郡)	(講演) ・「ドライバー自身ができる安全対策」 日本自動車連盟 静岡支部 事業課 課長 山中 博史 氏 (実習) ・サーキットでの安全運転トレーニング	34名	文部科学省 静岡県教育委員会 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会
第3回	11月2日(月) 東京ビッグサイト (東京都江東区)	(講演) ・「自動運転車・開発の現状と将来展望」 (株) 本田技術研究所 四輪R&Dセンター 上席研究員 杉本 洋一 氏 (見学) ・第44回東京モーターショー	96名	文部科学省 東京都教育委員会 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国総合学科高等学校校長協会 全国公民科・社会科教育研究会
第4回	11月20日(金) 日野自動車(株) 羽村工場 (東京都羽村市)	(講演) ・「大型自動車の安全技術」 日野自動車(株) 国内営業部おお客様センター室 講習座学担当 鈴木 仁 氏 (見学) ・羽村工場小型トラックライン見学、 PCS(衝突被害軽減ブレーキ) 体験試乗	24名	文部科学省 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会
計			200名	

2) 講師派遣活動

県教育委員会や学校関係団体が主催する研修会、及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を実施した。その結果、45 都道府県で技術研修会・一般研修会合わせて 258 回の講師派遣が実施され、延べ 99,386 人の先生および生徒が参加した。これは、派遣件数、受講者数共に過去最多である。

258 回の内訳は、テーマ別には技術研修会：22 回、一般研修会：236 回、対象者別には教諭対象：8 回、教諭および生徒対象：250 回であった。また、学校単位の開催も 243 回を数え、主催者からの報告書の「大変良い」と「良い」の合計の割合は 95%と高評価であった。

講師は研修テーマに合わせて、関係団体・企業の専門家等を派遣しているが、本年度は 258 回中 252 回について県推進協議会メンバーの日本自動車連盟、日本損害保険協会、整備振興会、自動車販売会社から講師派遣の協力を受けた。特に、先生・生徒を対象とした交通安全講習会は 236 回に上った。

(講師派遣の詳細は、30～38 頁の【資料 1】をご参照方)

【平成 27 年度・講師派遣支援メニューと派遣件数】

区分	ジャンル	研修メニュー		派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数 (回)
技術系	自動車の整備技術 〔体験型〕	①	ガソリンエンジンの分解・組立	整備振興会	2
		②	トランスミッションの分解・組立	整備振興会	0
		③	電子制御エンジンの構造と点検・整備	整備振興会	0
	自動車の最新技術 〔講演型〕	④	トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	5
		⑤	日産・電気自動車について	日産系ディーラー	4
		⑥	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダ系ディーラー	4
		⑦	マツダ・SKYACTIV エンジンについて	マツダ	3
		⑧	三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業	2
		⑨	燃料電池車について、他	トヨタ自動車、他	2
技術系 計					22
一般系 (社会科系)	環境	⑨	地球温暖化防止と自動車技術	自動車メーカー 自工会、他	0
	交通	⑩	ITSと未来の交通・まちづくり	ITS Japan、他	0
	交通安全	⑪	危険予知による交通安全	日本自動車連盟	108
		⑫	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟	25
		⑬	自転車や歩行者を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	47
		⑭	交通事故とその責任	日本損害保険協会	25
⑮	自転車と交通安全について	日本損害保険協会	31		
一般系 計					236
全体 合計					258

4. 普及啓発事業

1) 普及啓発活動

(1) 広報誌『Traffi-Cation』の発行

高校教諭を対象とする普及啓発活動の一環として、広報誌「Traffi-Cation」を下表の通り3回発行し、全国の高等学校（約5,900校）や定期送付希望の先生方（約920名）へ提供した。

【「Traffi-Cation」発行状況】

番号	発行日	タイトル・内容
No.39 夏号	27.6.15	<ul style="list-style-type: none"> *特集 「東京はロンドン・ニューヨークに並ぶ自転車先進都市になれるのか」 *トピックス 「自転車の交通違反取り締まりの強化—6月より改正道路交通法施行—」 *海外交通事情報告 第39回 「ロンドン五輪と自転車政策②」 *人、クルマ、そして夢。第8回 「自律自動運転の定義と課題」 *日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)
No.40 秋号	27.9.15	<ul style="list-style-type: none"> *特集 「水素社会の実現に向けたインフラ整備の取り組み」 *トピックス 「電気自動車と燃料電池自動車ってどう違うの?」 *海外交通事情報告 第40回 「ドイツにおける水素社会のとらえ方と水素ステーション」 *人、クルマ、そして夢。第9回 「トランスミッションの進化」 *日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)
No.41 春号	28.3.15	<ul style="list-style-type: none"> *特集 「地方都市におけるBRTの活用」 *トピックス 「環状交差点(ラウンドアバウト)におけるルール」 *海外交通事情報告 第41回 「街灯が電気自動車充電インフラに変身—ドイツ・ベルリン」 *人、クルマ、そして夢。第10回 「日本における自律自動運転の進化」 *日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)



No.39 夏号



No.40 秋号



No.41 春号

(2) Traffic-Cation の提供先

全国高等学校へのサンプル提供（春号）のほか、定期読者の先生方（3月末現在定期読者数 916 人）への提供を行った。

< 定期読者 >

・ 継続要望者 2,733 部

< サンプル提供先 >

・ 社会科系研究会参加者に対する直接配布 250 部
（全国公民科・社会科教育研究会全国大会、他）

・ JAEF 研修会・贈呈式参加者に対する直接配布 500 部

・ 学校名簿に基づく広域展開（学校宛配送） 5,975 部
（全国約 5,900 校の社会科系および生徒指導担当教諭等）

* 小計 6,725 部

< 参考提供先 >

・ 報道関係者(ニュースリリース配送先) 60 部

・ 財団関係者(JAEF REPORT 配送先) 1,432 部

* 小計 1,492 部

* 合計 10,950 部

2) 広域普及啓発活動

(1) マスコミ向けの「財団事業計画説明会」の開催

第4回定時評議員会における、平成26年度事業報告並びに平成27年度事業計画の承認を受けて、同会議の翌日(6月11日)日本自動車会館 くるまプラザ会議室において、恒例となった「財団事業計画説明会」を実施した。自動車・損保・教育関係専門紙誌が対象で、参加者はマスコミ19名であった。

(2) 「ニュースリリース」の発行

前年度に引き続き、報道機関向けのニュースリリース「JAEF NEWS」をタイムリーに発行(年間21回)した。

【「JAEF NEWS」発行状況】

番号	発行日	タイトルと内容
No. 638	27. 6. 11	平成27年度定時評議員会を開催
No. 639	27. 7. 7	「平成27年度第1回 JAEF 研修会」を開催(川崎重工業)
No. 640	27. 8. 7	「平成27年度第2回 JAEF 研修会」を開催(トヨタ交通安全センターモビリティ)
No. 641	27. 8. 7	平成27年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 642	27. 10. 8	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(青森県)
No. 643	27. 10. 13	「平成27年度第3回 JAEF 研修会」を開催(第44回東京モーターショー)
No. 644	27. 10. 16	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(岐阜県)
No. 645	27. 10. 19	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(福島県)
No. 646	27. 10. 19	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(静岡県)
No. 647	27. 10. 22	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(岩手県)
No. 648	27. 10. 22	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(宮城県)
No. 649	27. 10. 29	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(大阪府)
No. 650	27. 10. 29	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(京都府)
No. 651	27. 10. 30	「平成27年度第4回 JAEF 研修会」を開催(日野自動車)
No. 652	27. 11. 5	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(滋賀県)
No. 653	27. 11. 5	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(奈良県)
No. 654	27. 11. 10	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(三重県)
No. 655	27. 11. 10	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(愛知県)
No. 656	27. 11. 17	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(茨城県)
No. 657	27. 11. 17	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(和歌山県)
No. 658	27. 11. 20	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(兵庫県)

(3) 広報媒体（ホームページ、パンフレット、JAEF 支援メニュー）の充実・活用

広域普及媒体であるホームページやパンフレットにより財団活動の周知活動を行った。ホームページについては、タイムリーな情報発信を心がけ、JAEF 研修会の活動内容や広報誌 **Traffi-Cation** のバックナンバーの閲覧を可能とするなど、内容の拡充を行なった。

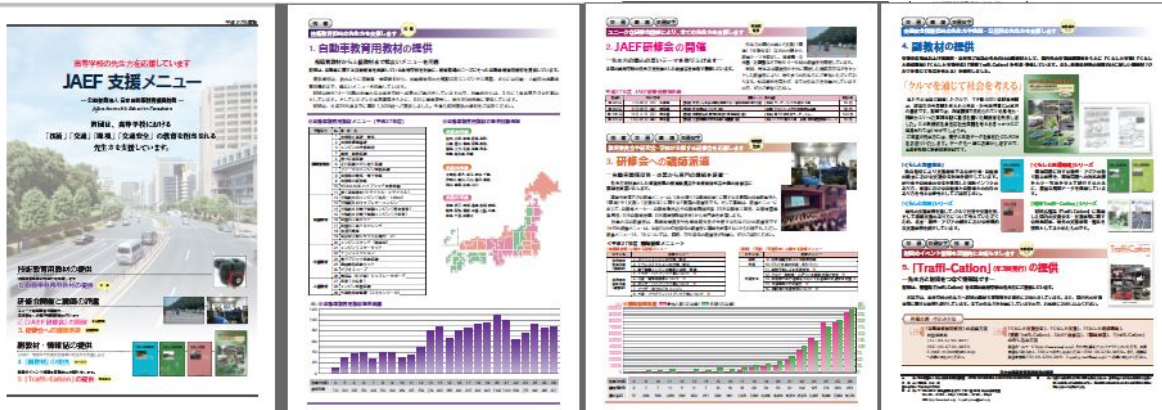


ホームページ トップ画面



財団パンフレット

また、先生向けの財団支援メニューを具体的かつ手軽に告知できるようにした「JAEF 支援メニュー【平成 27 年度版】」チラシも改訂・活用し、先生方への財団活動告知に努めた。



(4) 「JAEF REPORT」の発行

関係者向けの財団事業報告紙として「JAEF REPORT」（A4判・4頁・カラー）を定期的（4・7・10・1月の年4回）に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、「JAEF REPORT」をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

【「JAEF REPORT」発行状況】

番 号	発行日	タイトル・内容
No.225	27. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第8回理事会を開催、平成27年度事業計画・予算を承認 ◆ 平成26年度講師派遣：件数・人数とも過去最多を更新 ◆ 平成27年度講師派遣募集開始 ◆ 平成27年度自動車教育用教材の公募予定 ◆ 平成26年度自動車用教材活用結果 ◆ 社会科副教材を制作、全国の高校に案内
No.226	27. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第4回評議員会・第10回理事会を開催 ◆ 平成27年度事業計画説明会を開催 ◆ 平成27年度 JAEF 研修会の参加者を募集 ◆ 37都道府県の研修会（131件）に講師を派遣 ◆ 平成27年度 自動車技術教育用教材提供へ101校から応募
No.227	27.10. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成27年度自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定 ◆ 平成27年度第1～2回 JAEF 研修会を開催 ◆ 25都道府県（48件）の研修会に講師を派遣 ◆ 自動車技術教育を支援 ◆ 海外交通事情調査（ドイツ）を実施
No.228	28. 1. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新年のご挨拶 ◆ 15府県で教材贈呈式を開催 ◆ 平成27年度第3回～第4回 JAEF 研修会を実施 ◆ 26都道府県（57件）の研修会に講師を派遣 ◆ 欧州交通事情調査（イタリア）を実施

【IV】 支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援

前年度に引き続き、高校生が参加する全国イベント4件及び県別イベント4件に支援を実施した。なお、その内の5件は、地元の自動車教育推進協議会と連携し合同で支援を行なった。

	イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容	
					財団	協議会
全国イベント支援	第22 全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山	8/6~8/8	石川	石川県	協賛金	賞状・盾授与
	第19回 スターリングテクノロジー	11/7	埼玉	スターリングテクノロジー技術会	協賛名義	
	第15回高校生ものづくりコンテスト全国大会	11/14~15	九州	全国工業高等学校長協会	協賛名義	
	2015 エコデンレース 全国大会	11/23	大阪	全国自動車教育研究会	協賛金	
県別イベント支援	第20回三重県高校生テクノドリムフェア	8/16	三重	三重県高等学校工業教育研究会	協賛金	協賛金
	2015 長野県高校生交通安全CMコンテスト	10/24	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	協賛金	協賛金
	第17回沖縄県高等学校エコデンレース大会	10/20	沖縄	沖縄県工業教育研究会	協賛金	協賛金
	第23回静岡県高校生エコラン大会	11/1 11/28	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金	協賛金

2. 研究会及び研究大会への支援

前年度に続き、高校教諭を会員とする研究会活動を対象に、3件の支援を実施した。

	支援対象	実施日	支援先	協賛支援内容	
				財団	協議会
研究会支援	「全公社研紀要」への広告掲載	—	全国公民科・社会科教育研究会	協賛広告	
	平成27年度研究会活動費	—	東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会（都倫研）	協賛金	
	「全総会報」への広告掲載	—	全国総合学科高等学校長協会	協賛広告	

〔V〕組織運営

1. 理事・監事・評議員の異動

所属団体での異動による一部評議員の退任及び理事・監事の任期満了に伴い、平成 27 年 6 月 10 日（水）に開催された第 4 回定時評議員会において、評議員の一部選任並びに理事・監事の選任が行われた。その結果、評議員においては、6 名の退任評議員の後任として 6 名の新評議員が一部選任された。また、理事・監事については、新たに 11 名の理事と 3 名の監事が選任された。

これらの評議員会の決定を受けて同日開催された第 10 回理事会では、代表理事並びに業務執行理事等の選定が行われ、小枝 至氏に引き続き理事長を務めていただくこととなった。

なお、第 4 回定時評議員会終了後に、所属団体における異動による退任（評議員 1 名、理事 1 名）が発生したため、決議の省略による理事会並びに評議員会を開催し、後任の評議員及び理事の一部選任が行われた。

2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会 3 回、審査委員会 1 回、事業委員会 2 回、技術教育部会 4 回、調査普及部会 2 回、研修部会 2 回となっている。

3. 内閣府立入検査への対応

財団は、公益財団法人移行後初の内閣府による立入検査を平成 27 年 10 月 14 日（月）に受けた。同検査では、平成 26 年度における各実施事業のエビデンスの説明とそれに対する質疑応答、財団の会計処理の状況・ガバナンス等に関する質疑応答が行われた。

講評では基本的に問題無し（監督上の処分（勧告、命令）及び指導（書面によるもの）は無い）、と判断された。しかし、個別改善事項として理事会・評議員会の運営（理事会・評議員会の開催案内や理事・監事・評議員の選任、議事録の作成等）に関して、実務上改善した方が良い事項（計 8 項目）を口頭で伝えられたため、今後順次対応していく。

4. 経理・財務の状況

収入面では、関係団体からのご支援による賛助会費及び寄付金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益等により、計画を若干上回る収入を確保することができた。

一方、支出面においては、事業規模は維持・充実させつつも運営の効率化・費用管理に努め、ほぼ当初計画に沿った支出とすることができた。そのため、収支バランスは当初計画を若干上回る黒字となった。

〔VI〕 庶務事項

1. 事務局体制

- ・平成 28 年 3 月 31 日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	花田 隆夫	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	上橋 義弘	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
部 長	馬場 和幸	技術教育支援事業 総務、労務	審査委員会、技術教育部会 (理事会・評議員会)
部 長	山形 洋一	研修事業	研修部会
職 員	下野 尚美	(経理、総務、研修)	(研修部会)
職 員	佐藤江里花	(調査、普及啓発、システム)	(企画委員会、事業委員会) (調査普及部会)
職 員	山内しのぶ	(技術教育、総務)	(審査委員会、技術教育部会)

※ () 内は副担当としてのアシスト業務を示す

2. 賛助会費・寄附金の状況

- ・平成 27 年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

< 賛助団体名 >	< 金 額 >
・ (一社) 日本自動車工業会	35,000 千円
・ (一社) 日本損害保険協会	2,400 千円
・ (一社) 日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・ (一社) 日本自動車連盟	1,200 千円
・ (一社) 日本自動車会議所	600 千円
・ (一社) 全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・ (一社) 日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・ (一社) 日本自動車整備振興会連合会	600 千円
合 計	46,400 千円

< 寄附団体名 >	< 金 額 >
・ (一社) 日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合 計	6,000 千円

以 上

【資料1】平成27年度講師派遣実績

1. 技術研修会

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
1	栃木	栃木県高等学校教育研究会工業部会	5/15	マツダ・SKYACTIV エンジンの構造・作動について	北関東マツダ マツダ	金野 孝一/白畑 恵介 藤原 登	94
2	東京	全国自動車教育研究会	5/21	モータースポーツの社会的意義	三菱総合研究所	田中 秀尚	45
3	福岡	福岡県立八女工業高等学校	6/5	日産・電気自動車について	日産プリンス福岡販売	後藤 憲一	88
4	広島	広島市立広島工業高等学校	6/9	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダカーズ広島	高木 博	36
5	東京	東京都自動車教育研究会	7/3	燃料電池車について	トヨタ自動車	栗山 勝志	40
6	愛知	名古屋市立工業高等学校	7/8	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダカーズ愛知	宮田 元康	38
7	沖縄	沖縄県工業研究会	8/7	トヨタハイブリッド車整備点検について	沖縄トヨペット	比嘉 淳志	20
8	神奈川	全工協 エネルギー・環境技術教育研究会	8/19	ガソリンエンジンの分解・組立	神奈川県整備振興会	柏木 勝巳	15
9	奈良	奈良県立奈良朱雀高等学校	11/2	日産・電気自動車について	近畿日産自動車	川畑 利彦	65
10	広島	広島市立広島工業高等学校	11/12	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダカーズ広島	高木 博	40
11	愛知	大同大学大同高等学校	12/2	ガソリンエンジンの分解・組立	愛知県整備振興会	田中 明一	8
12	島根	島根県立松江工業高等学校	12/10	トヨタ・ハイブリッド車について	島根トヨタ	川上 俊之 宮田 剛志	40
13	宮城	宮城県村田高等学校	12/15	日産・電気自動車について	日産サテオ宮城	安部 正喜	21
14	広島	広島県工業教育研究会	12/25	マツダ・SKYACTIV エンジンの構造・作動について	マツダ(ティティアイ・ジャパン)	宮原 正夫	32
15	兵庫	兵庫県立洲本実業高等学校	1/19	マツダ・SKYACTIV エンジンの構造・作動について	マツダ(ティティアイ・ジャパン)	宮原 正夫	88
16	鳥取	鳥取県立境港総合技術高等学校	1/19	トヨタ・ハイブリッド車について	鳥取トヨタ	太田 信之	44
17	福岡	福岡県立田川科学技術高等学校	1/26	トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタカローラ博多	船越 純一 時田 雄輝	36
18	大阪	大阪府立茨木工科高等学校・定時制	1/26	日産・電気自動車について	近畿日産自動車	布施 修久	28
19	東京	東京都立六郷工科高等学校	1/28	トヨタ・ハイブリッド車について	東京トヨペット	稲垣 啓二/糸一 裕 中野 仁	30
20	東京	東京都立墨田工業高等学校	2/5	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダカーズ東京中央	上野 浩一	80
21	東京	東京都立田無工業高等学校	3/18	三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業	正木 博/菅野容子	54
22	東京	東京都立田無工業高等学校	3/22	三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業	正木 博/菅野容子	57
	技術系計	—	—	—	—	—	999

2. 一般研修会

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
1	神奈川	湘南工科大学附属高等学校	4/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	583
2	東京	都立北豊島工業高等学校	4/9	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・生活サービス部	小島 達巳	180
3	東京	都立片倉高等学校	4/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	320
4	埼玉	埼玉平成高等学校	4/10	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・生活サービス部	平野 幸夫	311
5	京都	市立伏見工業高等学校	4/10	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	158
6	東京	成城学園高等学校	4/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	中津川乗康	30
7	山形	県立谷地高等学校	4/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	350
8	埼玉	春日部共栄高等学校	4/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	620
9	大阪	初芝立命館高等学校	4/13	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	380
10	愛知	県立稲沢高等学校	4/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	大橋 義典	616
11	熊本	県立ひのくに高等支援学校	4/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊 敬太	138
12	広島	近畿大学附属広島高等学校・福山校	4/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・広島支部	伊藤 昇	1,132
13	静岡	県立藤枝北高等学校	4/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷 和俊	210
14	福島	県立石川高等学校	4/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福島支部	堀川 正和	71
15	香川	大手前高松中学・高等学校	4/14	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・四国支部	片岡 信彦	215
16	滋賀	滋賀学園高等学校①	4/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田 真	205
17	青森	県立大湊高等学校	4/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園 浩二	651
18	北海道	道立深川東高等学校	4/16	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北海道支部	上木 英正	190
19	新潟	県立高田南城高等学校	4/16	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・新潟支部	梨本 信栄	180
20	静岡	藤枝順心高等学校	4/16	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	160
21	青森	県立十和田工業高等学校	4/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園 浩二	550
22	秋田	県立大館高等学校・定時制	4/16	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	50
23	長野	県立駒ヶ根工業高等学校	4/17	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	353
24	岐阜	県立岐阜北高等学校	4/17	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	王賀 通浩	1,140
25	兵庫	育英高等学校	4/18	交通事故とその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	584
26	北海道	道立旭川西高等学校	4/20	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤 博行	758
27	熊本	県立松橋支援学校	4/20	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊 敬太	65
28	宮崎	県立高城高等学校	4/21	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	栗山 智美	360
29	長野	県立上伊那農業高等学校	4/21	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	495
30	北海道	道立札幌清田高等学校	4/22	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北海道支部	上木 英正	332

No	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
31	秋田	県立栗田養護学校	4/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	108
32	群馬	県立下仁田高等学校	4/22	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・群馬支部	松岡 嘉明	159
33	沖縄	県立本部高等学校	4/22	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・沖縄支部	平良 克哉	161
34	大阪	市立生野工業高等学校	4/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	川部 隆夫	584
35	岩手	県立宮古工業高等学校	4/23	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・岩手支部	藤田 学	260
36	香川	県立豊学校	4/23	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・四国支部	片岡 信彦	45
37	栃木	県立宇都宮白楊高等学校	4/23	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村 鋭夫	836
38	熊本	県立球磨商業高等学校	4/23	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊 敬太	332
39	茨城	県立鹿島高等学校	4/24	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田 義勝	894
40	岩手	県立釜石祥雲支援学校	4/24	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	藤田 学	34
41	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	4/24	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・東北支部	山口 兼由	80
42	福岡	立花高等学校	4/24	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	古西 朱美	156
43	北海道	道立月形高等学校	4/27	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北海道支部	上木 英正	133
44	宮崎	県立都農高等学校	4/27	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	永松 純一	234
45	静岡	浜松啓陽高等学校	4/27	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷 和俊	516
46	東京	都立葛飾野高等学校	4/27	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・南関東支部	土屋 政幹	317
47	埼玉	県立久喜北陽高等学校	4/27	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	1,016
48	神奈川	県立寒川高等学校	4/28	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	370
49	新潟	県立正徳館高等学校	4/28	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・新潟支部	梨本 信栄	135
50	北海道	道立札幌東陵高等学校	4/28	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・札幌支部	山澤 孝雄	944
51	島根	県立江津清和養護学校	4/28	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・島根支部	安井 俊久	9
52	埼玉	県立岩槻商業高等学校	4/28	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	562
53	大阪	府立伯太高等学校	4/30	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	560
54	岐阜	県立羽島北高等学校	4/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	王賀 通浩	946
55	富山	県立高岡聴覚総合支援学校	4/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・富山支部	今井 光義	33
56	青森	県立野辺地高等学校	4/30	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・青森支部	中園 浩二	364
57	静岡	県立榛原高等学校	4/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中 博史	244
58	京都	府立洛水高等学校	5/1	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	225
59	滋賀	滋賀短期大学附属高等学校	5/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田 真	91
60	愛知	県立蒲郡高等学校①	5/1	交通事故とその責任	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	210

No	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)	参加人数
61	北海道	道立上川高等学校	5/1	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・旭川支部 後藤 博行	161
62	東京	都立第四商業高等学校	5/1	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・東京支部 高木 孝	607
63	新潟	県立五泉高等学校	5/1	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・新潟支部 梨本 信栄	710
64	宮城	県立柴田農林高等学校・川崎校	5/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮城支部 渡辺 定則	86
65	千葉	県立柏の葉高等学校	5/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・千葉支部 柳田 洋	982
66	佐賀	県立唐津西高等学校	5/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・佐賀支部 山口 徹	650
67	山形	県立新庄神室産業高等学校	5/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部 柏倉 保	123
68	岡山	県立岡山御津高等学校①	5/8	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中国支部 清水 英男	246
69	長野	県立野沢南高等学校・定時制	5/12	交通事故とその責任	日本損害保険協会・北関東支部 野口 治憲	75
70	岐阜	県立岐阜聳学校	5/12	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中部支部 村上 昇	52
71	奈良	県立王寺工業高等学校	5/13	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・奈良支部 竹ノ内英介	651
72	茨城	県立磯原郷英高等学校	5/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部 岡田 義勝	423
73	秋田	県立横手清陵学院中学校・高等学校	5/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	683
74	青森	県立八戸第二養護学校	5/13	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・青森支部 中園 浩二	98
75	岐阜	県立各務原西高等学校	5/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部 王賀 通浩	979
76	北海道	道立旭川南高等学校	5/14	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・旭川支部 後藤 博行	780
77	北海道	道立今金高等養護学校	5/14	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・函館支部 山本 洋平	105
78	大阪	府立枚方なぎさ高等学校	5/14	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部 山本 武弘	287
79	群馬	県立聳学校	5/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部 松岡 嘉明	43
80	山梨	県立甲府西高等学校	5/15	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部 三枝 成己	730
81	沖縄	県立宜野湾高等学校	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部 平良 克哉	700
82	山形	県立鶴岡北高等学校	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部 柏倉 保	40
83	神奈川	県立瀬谷西高等学校	5/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部 奥田 恭司	715
84	熊本	県立八代東高等学校	5/18	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・熊本支部 梅本 直希	380
85	滋賀	県立水口東中学・高等学校	5/19	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部 生田 真	1,020
86	石川	小松市立高等学校	5/19	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・石川支部 北本 大	630
87	北海道	道立名寄高等学校	5/19	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部 後藤 博行	471
88	静岡	県立吉原工業高等学校	5/20	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部 望月 滋	45
89	東京	東京・中央学院大学中央高等学校	5/20	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・生活サービス部 小島 達巳	121
90	長崎	県立波佐見高等学校	5/20	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・長崎支部 庄島 恭博	460

No	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
91	熊本	県立熊本西高等学校	5/20	交通事故とその責任	日本損害保険協会・九州支部	古西 朱美	738
92	群馬	県立桐生西高等学校	5/21	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	藤原 修	480
93	兵庫	県立姫路北高等学校	5/22	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	382
94	愛知	県立日進西高等学校	5/25	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	大橋 義典	1,000
95	静岡	聖隷クリスティーア中学校・高等学校	5/26	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・静岡支部	山中 博史	970
96	大阪	府立吹田支援学校・高等部	5/26	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	阪本 公明	86
97	大阪	府立吹田支援学校・中学部	5/26	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	阪本 公明	80
98	北海道	道立霧多布高等学校	5/26	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・釧路支部	内藤 裕孝	80
99	長野	県立野沢北高等学校	5/28	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	682
100	大阪	府立泉尾高等学校	5/28	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野 芳久	227
101	長崎	県立桜が丘特別支援学校	5/29	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・長崎支部	庄島 恭博	66
102	神奈川	県立藤沢工科高等学校	5/29	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	237
103	兵庫	松蔭中学校・高等学校①	5/29	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	500
104	秋田	県立横手城南高等学校	6/2	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	泉 寿和	543
105	福島	聖光学院高等学校	6/3	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	堀川 正和	760
106	千葉	県立市川南高等学校	6/5	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部	柳田 洋	1,016
107	香川	県立志度高等学校	6/5	交通事故とその責任	日本損害保険協会・四国支部	片岡 信彦	390
108	山形	県立山形養護学校	6/5	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	20
109	宮城	県立古川黎明高等学校	6/8	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	渡辺 定則	700
110	北海道	道立清里高等学校	6/10	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・北見支部	佐々木 純	71
111	埼玉	県立三郷高等学校	6/12	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	240
112	岡山	県立岡山御津高等学校②	6/12	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓	140
113	茨城	県立竹園高等学校	6/12	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田 義勝	320
114	兵庫	松蔭中学校・高等学校②	6/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	400
115	岩手	県立釜石高等学校	6/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	藤田 学	35
116	茨城	県立結城第二高等学校・昼間部	6/15	交通事故とその責任	日本損害保険協会・生活サービス部	平野 幸夫	222
117	茨城	県立結城第二高等学校・夜間部	6/15	交通事故とその責任	日本損害保険協会・生活サービス部	平野 幸夫	38
118	山形	県立鶴岡南高等学校・山添校	6/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	11
119	岐阜	県立大垣養老高等学校	6/17	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	王賀 通浩	748
120	岩手	県立盛岡第四高等学校	6/17	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	藤田 学	838

No	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
121	愛媛	県立北条高等学校	6/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛媛支部	森長 将行	655
122	愛知	県立愛知工業高等学校・定時制	6/19	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・愛知支部	大橋 義典	120
123	静岡	県立富士特別支援学校	6/19	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中 博史	180
124	埼玉	正智深谷高等学校	6/24	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・埼玉支部	永山 栄治	1,100
125	大阪	府立登美丘高等学校	6/25	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	川部 隆夫	1,080
126	福島	県立いわき翠の杜高等学校	6/26	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・福島支部	堀川 正和	12
127	岩手	県立花北青雲高等学校	6/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	藤田 学	526
128	茨城	県立江戸崎総合高等学校	7/1	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田 義勝	553
129	栃木	県立鹿沼高等学校	7/2	交通事故とその責任	日本損害保険協会・北関東支部	三柴 啓一	770
130	福井	県立美方高等学校	7/3	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福井支部	酒向 統久	112
131	沖縄	県立那覇西高等学校	7/6	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔	1,066
132	茨城	県立友部東特別支援学校	7/7	交通事故とその責任	日本損害保険協会・南関東支部	竹島亜機雄	39
133	山梨	県立白根高等学校	7/7	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・山梨支部	三枝 成己	500
134	沖縄	県立開邦高等学校	7/8	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	平良 克哉	666
135	富山	県立富山西高等学校	7/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・富山支部	今井 光義	340
136	宮崎	県立みやざき中央支援学校	7/9	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内 真一	21
137	大阪	府立大正高等学校	7/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	川部 隆夫	208
138	兵庫	県立明石高等学校	7/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	1,100
139	滋賀	県立草津東高等学校	7/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田 真	1,070
140	山口	県立小野田工業高等学校	7/14	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中国支部	井元 健	360
141	神奈川	緑ヶ丘女子中学校・高等学校	7/14	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	125
142	東京	都立石神井高等学校	7/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	中津川乗康	280
143	東京	都立羽村高等学校	7/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	911
144	千葉	県立九十九里高等学校	7/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	田中 政彦	430
145	沖縄	県立辺土名高等学校	7/15	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	平良 克哉	124
146	兵庫	県立伊丹高等学校	7/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	980
147	埼玉	県立皆野高等学校	7/15	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北関東支部	森田 啓資	221
148	滋賀	滋賀学園高等学校②	7/16	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田 真	170
149	徳島	県立富岡東中学校・高等学校	7/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・徳島支部	富士元宏市	904
150	長野	県立蓼科高等学校	7/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	310

No	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
151	大阪	府立北摂つばさ高等学校	7/17	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	山野 陽一	800
152	沖縄	県立コザ高等学校	7/22	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔	1,200
153	熊本	県立天草支援学校	7/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊 敬太	50
154	岐阜	県立大垣商業高等学校・定時制	8/26	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岐阜支部	中村 眞治	77
155	兵庫	県立伊川谷高等学校	8/27	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	44
156	山口	県立下関南総合支援学校	8/31	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山口支部	田中 浩司	80
157	兵庫	滝川第二中学校・高等学校	9/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	1,200
158	宮崎	県立宮崎工業高等学校	9/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	永松 純一	838
159	千葉	松戸東葛飾地区合同生徒指導連絡協議会	9/8	交通事故とその責任	日本損害保険協会・南関東支部	安藤 正一	46
160	北海道	道立室蘭工業高等学校	9/8	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・札幌支部	山口 博之	494
161	広島	広島大学付属高等学校	9/9	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中国支部	吉田 徹	385
162	福岡	県立三池高等学校	9/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	廣瀬 翔	700
163	佐賀	県立太良高等学校	9/14	交通事故とその責任	日本損害保険協会・九州支部	古西 朱美	193
164	北海道	栄高等学校	9/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・札幌支部	山口 博之	369
165	熊本	県立御船高等学校	9/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊 敬太	390
166	山梨	県立日川高等学校	9/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山梨支部	三枝 成己	757
167	秋田	県立大館鳳凰高等学校	9/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	750
168	茨城	県立鉾田農業高等学校	9/24	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田 義勝	65
169	神奈川	県立瀬谷高等学校PTA	9/26	交通事故とその責任	日本損害保険協会・南関東支部	安藤 正一	69
170	北海道	道立札幌英藍高等学校	9/28	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・札幌支部	山口 博之	1,000
171	東京	岩倉高等学校	9/29	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	1,335
172	宮崎	県立日南高等学校	10/1	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	古西 朱美	108
173	千葉	県立生浜高等学校①	10/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	田中 政彦	229
174	千葉	県立生浜高等学校②	10/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	田中 政彦	363
175	群馬	県立富岡実業高等学校	10/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	清水 康	415
176	宮城	県立松山高等学校	10/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷 輝明	197
177	福岡	公立古賀寛成館高等学校	10/5	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	栗山 智美	647
178	大阪	府立箕面東高等学校・2年生	10/5	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	220
179	宮崎	県立宮崎西高等学校	10/6	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・宮崎支部	永松 純一	1,200
180	大阪	府立箕面東高等学校・3年生	10/6	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	170

No	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
181	大阪	府立箕面東高等学校・1年生	10/7	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	210
182	宮城	県立仙台向山高等学校	10/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷 輝明	600
183	山口	県立岩国総合高等学校	10/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山口支部	田中 浩司	397
184	熊本	県立上天草高等学校	10/9	交通事故とその責任	日本損害保険協会・九州支部	栗山 智美	290
185	茨城	県立並木中等教育学校	10/16	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・南関東支部	土屋 政幹	160
186	広島	県立呉港高等学校	10/16	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・広島支部	伊藤 昇	756
187	栃木	県立宇都宮工業高等学校・定時制	10/19	交通事故とその責任	日本損害保険協会・北関東支部	三柴 啓一	115
188	秋田	県立秋田北鷹高等学校	10/21	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	726
189	大阪	市立汎愛高等学校	10/21	交通事故とその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	295
190	福岡	県立嘉穂高等学校	10/21	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	廣瀬 翔	632
191	山口	県立大津緑洋高等学校・大津校舎	10/22	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・山口支部	田中 浩司	329
192	大阪	府立阪南高等学校	10/22	交通事故とその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	320
193	福岡	大牟田学園大牟田高等学校②	10/26	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・福岡支部	前川 憲司	429
194	愛知	県立稲沢東高等学校	10/29	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺元 浩	625
195	茨城	水戸啓明高等学校	11/2	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・茨城支部	岡田 義勝	900
196	神奈川	県立川崎高等学校・定時制	11/4	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	176
197	愛知	県立津島東高等学校	11/5	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	大橋 義典	877
198	鹿児島	県立喜界高等学校	11/10	交通事故とその責任	日本損害保険協会・九州支部	栗山 智美	216
199	佐賀	県立牛津高等学校	11/11	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・佐賀支部	山口 徹	478
200	岐阜	県立揖斐特別支援学校	11/11	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	中村 眞治	28
201	宮崎	県立宮崎大宮高等学校	11/12	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	松永 純一	1,250
202	静岡	県立天竜特別支援学校	11/16	交通事故とその責任	日本損害保険協会・生活サービス部	平野 幸夫	34
203	北海道	道立栗山高等学校	11/18	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山口 博之	223
204	鹿児島	志學館中部部・高等部	11/25	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱 純洋	610
205	群馬	県立伊勢崎工業高等学校	12/3	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	藤原 修	650
206	沖縄	県立宜野座高等学校	12/7	交通事故とその責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光	112
207	茨城	県立下館第一高等学校	12/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田 義勝	280
208	岡山	県立玉島高等学校	12/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓	285
209	東京	都立砂川高等学校	12/11	自転車や歩行者等を中心とする夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	425
210	愛媛	県立松山北高等学校・中島分校	12/11	交通事故とその責任	日本損害保険協会・四国支部	鶴巻 健弥	57

No	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
211	大分	県立宇佐産業科学高等学校	12/14	クルマ・自転車・人がつくる 道路交通と安全	日本自動車連盟・大分支部	田代 芳久	384
212	岡山	県立倉敷中央高等学校	12/15	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓	940
213	鹿児島	県立大島北高等学校	12/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱 純洋	133
214	静岡	県立科学技術高等学校・定時制	12/17	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・静岡支部	山中 博史	67
215	熊本	専修大学玉名高等学校	12/18	交通事故とその責任	日本損害保険協会・九州支部	古西 朱美	500
216	茨城	県立真壁高等学校	12/18	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・茨城支部	岡田 義勝	138
217	鹿児島	県立南大隅高等学校	12/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱 純洋	125
218	千葉	県立成東高等学校	12/18	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・千葉支部	田中 政彦	960
219	千葉	県立千葉工業高等学校	12/18	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・千葉支部	熱海 一郎	760
220	神奈川	県立伊勢原高等学校・定時制	12/18	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	130
221	兵庫	神戸市立兵庫商業高等学校	12/19	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副 隆司	150
222	沖縄	県立八重山商工高等学校 :	12/25	交通事故とその責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光	405
223	東京	かえつ有明中・高等学校	1/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	97
224	群馬	県立あさひ特別支援学校	1/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	光吉 夏美	109
225	茨城	県立笠間高等学校	1/29	交通事故とその責任	日本損害保険協会・南関東支部	竹島亜機雄	153
226	北海道	道立福島商業高等学校	2/5	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・函館支部	山本 七平	27
227	茨城	県立水戸桜ノ牧高等学校	2/17	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・南関東支部	土屋 政幹	635
228	北海道	道立苫小牧工業高等専門学校	3/1	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北海道支部	上木 英正	800
229	福岡	県立福岡中央高等学校	3/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	廣瀬 翔	713
230	福岡	県立筑紫中央高等学校・定時制	3/10	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・福岡支部	前川 憲司	51
231	東京	都立西高等学校	3/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	中津川乗康	320
232	愛知	県立蒲郡高等学校②	3/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	吉田 英治	520
233	山口	県立岩国高等学校坂上分校	3/16	自転車や歩行者等を中心とする 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・山口支部	田中 浩二	68
234	三重	県立みえ夢学園高等学校	3/16	交通事故とその責任	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	87
235	東京	都立調布北高等学校	3/18	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・生活サービス部	原澤 康嗣	488
236	埼玉	県立南稜高等学校	3/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	800
	一般系	—	—	—	—	—	98,387
	技術系計	—	—	—	—	—	999
	総合計	—	—	—	—	—	99,386

【資料2】平成27年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況

(敬称略)

1) 青森県

日時/場所		平成27年10月29日 13:30~15:00/富山県自動車会議所(青森市奥野1-12-3)			
出席者	来賓	青森県教育庁学校教育課	主任指導主事	長内 修吾	
	学校関係者	青森県立青森工業高等学校	教 長	論	安田 清人
		青森県立弘前工業高等学校	校 長	論	高橋 和雄
		〃	教 長	論	小田桐成登
		青森県立八戸工業高等学校	教 長	論	明戸 昭則
		青森県立五所川原工業高等学校	校 長	論	奈良 昌孝
		〃	教 長	論	佐藤 正広
		青森県立十和田工業高等学校	校 長	論	濱中 瑞洋
		〃	教 長	論	新堂 昭生
		青森県立むつ工業高等学校	校 長	論	佐々木孝之
〃		教 長	論	工藤不二男	
青森山田高等学校	教 長	頭 論	小野寺邦彦		
〃	教 長	頭 論	五戸 豊美		
八戸学院光星高等学校	教 長	頭 論	門馬 修		
〃	教 長	頭 論	西村 裕行		
弘前東高等学校	教 長	頭 論	児玉 博宣		
八戸工業大第一高等学校	教 長	頭 論	田名部俊成		
〃	教 長	頭 論	堀内 将雄		
八戸学院野辺地西高等学校	教 長	頭 論	迫 祐子		
〃	教 長	頭 論	南 豊		
協議会関係者	青森県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	今井 高志	
	青森県自動車整備振興会	常 務 理 事		鹿内 朝明	
	日本自動車連盟 青森支部	事 務 所 長		千田 耕一	
	青森県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局]	牧野 健一	
	〃	事 務 局 長		石川 善孝	
日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸		
マスコミ	青森テレビ・東奥日報社・日刊自動車新聞社				

2) 岐阜県

日時/場所		平成27年11月6日 13:30~15:00/ホテルリソル岐阜(岐阜市長住町5-8)			
出席者	来賓	岐阜県教育委員会学校支援課	課 長 補 佐	岩島 義則	
	学校関係者	岐阜県立岐南工業高等学校	校 長	論	清水 由光
		〃	教 長	論	辻 整
		岐阜県立岐阜工業高等学校	校 長	論	永井 政義
		〃	教 長	論	石原 隆
		岐阜県立高山工業高等学校	教 長	論	反中 哲也
	岐阜第一高等学校	教 長	論	安藤 和一	
	協議会関係者	岐阜県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	村瀬 洋介
		岐阜県自動車整備振興会	専 務 理 事		尾崎 正俊
		岐阜県軽自動車協会	専 務 理 事		石田 正彦
日本自動車連盟石川支部		事 業 課 長		近藤 雅樹	
〃		事 業 係 長		王賀 通浩	
日本損害保険協会中部支部		事 務 局 長		吉澤 篤史	
岐阜県自動車販売店協会		専 務 理 事	[県協議会・事務局]	小野 武	
〃	事 業 部 長		篠田 純一		
日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸		
マスコミ	なし				

3) 福島県

日 時/場 所	平成 27 年 11 月 9 日 13:30～15 : 00 / 福自販会館 (福島市吉倉字名倉 1-1)		
出席者	来 賓	福島県教育庁高校教育課 " 主任指導主事 指 導 主 事	高橋 豊治 鈴木 哲
	学 校 関 係 者	福島県立福島工業高等学校 " 校 長	内田 貞俊
		福島県立川俣高等学校 " 教 諭	小林 龍一
		福島県立二本松工業高等学校 " 校 長	佐藤 泰仙
福島県立白河実業高等学校 " 教 諭		高梨 哲夫	
福島県立白河実業高等学校 " 校 長		渡邊 春雄	
福島県立塙工業高等学校 " 教 諭		二瓶 賢一	
福島県立会津工業高等学校 " 教 諭		猪狩 光央	
福島県立喜多方桐桜高等学校 " 校 長		清水 隆司	
福島県立勿来工業高等学校 " 教 諭	高畑 利夫		
若松第一高等学校 " 校 長	澁谷 栄一		
若松第一高等学校 " 教 諭	平栗 裕亮		
若松第一高等学校 " 教 諭	深谷 茂樹		
若松第一高等学校 " 教 諭	鴻巣 尊		
若松第一高等学校 " 教 諭	石山 裕司		
若松第一高等学校 " 教 諭	秋山 敦康		
協議会 関 係 者	福島県自動車販売店協会 " 会 長	[県協議会・会長]	佐藤 修朗
	福島県自動車整備振興会 " 専 務 理 事		志賀 光晴
	福島県軽自動車協会 " 会 長		塚原 靖弘
	日本自動車連盟福島支部 " 事 務 所 長		小島 雄一
	福島県自動車販売店協会 " 専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	宮村 和男
	日本自動車教育振興財団 " 常 務 理 事		上橋 義弘
日本自動車教育振興財団 " 部 長		山形 洋一	
マスコミ	福島放送・テレビュー福島・日刊自動車新聞		

4) 静岡県

日 時/場 所	平成 27 年 11 月 10 日 13:30～15 : 00 / ホテルセンチュリー静岡 (静岡市駿河区南町 18-1)			
出席者	来 賓	静岡県教育委員会高校教育課 静岡県立科学技術高等学校	指 導 主 事 県代表校長	大澤 貢 塩崎 克行
	学 校 関 係 者	静岡県立沼津工業高等学校・定時制 " 教 諭	頭 論	渡森 和彦
		静岡県立吉原工業高等学校 " 教 諭	教 諭	稲葉 将光
		静岡県立島田工業高等学校 " 校 長	校 長	服部 康雄
静岡県立小笠高等学校 " 教 諭		教 諭	山本 秀行	
静岡県立浜松湖北高等学校 " 校 長		校 長	山本 浩史	
静岡県立浜松湖北高等学校 " 教 諭		教 諭	加藤 洋一	
静岡県立浜松湖北高等学校 " 教 諭	教 諭	佐藤 雅年		
静岡県立浜松湖北高等学校 " 教 諭	教 諭	岩田 要司		
静岡県立浜松湖北高等学校 " 教 諭	教 諭	池上 正寿		
協議会 関 係 者	静岡県自動車販売店協会 " 会 長	[県協議会・会長]	杉山 智彦	
	静岡県自動車整備振興会 " 専 務 理 事		中西 祥明	
	日本自動車連盟静岡支部 " 事 務 所 長		土島 年康	
	日本損害保険協会中部支部 " 事 務 局 長		吉澤 篤史	
	静岡県中古自動車販売協会 " 相 談 役		増井 義春	
	静岡県自動車販売店協会 " 専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	平川 君男	
	静岡県自動車販売店協会 " 総 務 課 長		海野 尚彦	
	静岡県自動車販売店協会 " 総 務 課		堀池 温子	
日本自動車教育振興財団 " 部 長		馬場 和幸		
日本自動車教育振興財団 " 部 長		山形 洋一		
マスコミ	日刊自動車新聞			

5) 岩手県

日 時/場 所		平成 27 年 11 月 12 日 13:00～14:00/ホテルメトロポリタン盛岡 (盛岡市盛岡駅前通 1-44)		
出 席 者	学 校 関 係 者	岩手県立大船渡東高等学校 " " 岩手県立福岡工業高等学校	副 校 長 教 諭 教 諭	三 浦 立 藤 沼 俊 介 佐 々 木 敬 三
	協 議 会 関 係 者	岩手県自動車販売協会 日本自動車教育振興財団	専 務 理 事 部 長	[県協議会・事務局長] 山 口 正 馬 場 和 幸
	マ ス コ ミ	日刊自動車新聞社		

6) 宮城県

日 時/場 所		平成 27 年 11 月 13 日 13:30～15:00/ホテルメトロポリタン仙台 (仙台市青葉区中央 1-1-1)		
出 席 者	来 賓	宮城県教育庁高校教育課	主 幹	長 田 晃 明
	学 校 関 係 者	宮城県村田高等学校	教 諭	五 島 達
		宮城県登米総合産業高等学校	教 諭	相 沢 牧 彦
		宮城県黒川高等学校	教 諭	浅 野 和 幸
		宮城県伊具高等学校	校 長	庄 司 径 二
		" "	教 諭	木 元 紀 昭
		宮城県加美農業高等学校	教 頭	阿 部 幸 弘
		" "	教 諭	今 野 秀 彦
		宮城県小牛田農林高等学校	教 頭	橋 浦 清
		" "	教 諭	今 野 甚 作
		宮城県気仙沼向洋高等学校	校 長	千 田 健 一
		" "	教 諭	佐 藤 信 之
		宮城県工業高等学校	教 頭	丹 野 高 雄
" "	教 諭	柿 崎 明 弘		
宮城県石巻工業高等学校	校 長	佐 藤 明 嘉		
" "	教 諭	千 葉 貢		
宮城県古川工業高等学校 (定時制)	副 校 長	村 岡 伸 章		
宮城県第二工業高等学校	教 頭	石 岡 恒 一		
" "	教 諭	北 館 孝		
仙台市立仙台工業高等学校	校 長	西 尾 正 人		
仙台市立仙台工業高等学校 (定時制)	教 諭	柳 瀬 克 紀		
協 議 会 関 係 者	宮城県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	野 萱 和 夫
	宮城県自動車整備振興会	専 務 理 事		長 谷 川 茂
	宮城県軽自動車協会	専 務 理 事		船 生 弘 隆
	日本自動車連盟宮城支部	事 務 所 長		菊 池 斉
	日本損害保険協会東北支部	事 務 局 長		五 味 正 夫
	宮城県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	菊 池 憲 満
	" "	業 務 課 主 任		佐 藤 晴 美
日本自動車教育振興財団	常 務 理 事		上 橋 義 弘	
マ ス コ ミ	日刊自動車新聞			

7)大阪府

日 時/場 所		平成2年11月18日 13:30~15:00/リーガロイヤルホテル大阪(大阪市北区中之島5-3-68)		
出席者	来 賓	大阪府教育委員会事務局教育振興室高等学校課 堺市教育委員会学校教育課	主席指導主事 参 事	植木 信博 大橋 幸一
	学 校 関 係 者	大阪府立淀川工科高等学校	校 長	丸岡 俊之
		〃	教 諭	岡野 一也
		大阪府立茨木工科高等学校(定時制)	教 諭	田辺 和也
		大阪府立布施工科高等学校	教 頭	林 伸光
		〃	教 諭	高橋 道生
		大阪府立堺工科高等学校	校 長	亀平 福一
		〃	教 諭	大倉 博
		大阪府立東住吉総合高等学校	校 長	武田 温代
		〃	教 諭	藤原 佳太
		大阪府立和泉総合高等学校(定時制)	准 校 長	加納 由朗
		〃	教 諭	清水 功
		大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	校 長	和泉 秀雄
		〃	教 諭	中岡 貴紀
堺市立堺高等学校(定時制)	教 頭	水田 秀一		
〃	教 諭	鴉 徹		
大阪市立泉尾高等学校	校 長	大内 維人		
〃	教 諭	西野 貴宏		
大阪市立東淀工業高等学校	校 長	橋本 嘉平		
星翔高等学校	校 長	種橋 和憲		
協議会 関 係 者	大阪府自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	堀内 俊樹
	大阪府自動車整備振興会	常 務 理 事		森 正
	大阪府軽自動車協会	専 務 理 事		山野 正昭
	日本自動車連盟大阪支部	事 務 所 長		井戸木 亘
	〃	事 業 課 長		道場 明
	大阪府自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	柳田 重利
〃			今村まゆ美	
日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸	
マスコミ	日刊自動車新聞			

8)京都府

日 時/場 所		平成27年11月20日 11:30~13:00/京都東急ホテル(京都市下京区堀川通り五條下ル柿本町580)			
出席者	学 校 関 係 者	京都府立田辺高等学校	校 長	杉本 憲一	
		〃	教 諭	中森 耕平	
		京都府立工業高等学校	校 長	田中 邦	
		〃	企画推進部長	田中 康嗣	
	協議会 関 係 者	千葉県自動車整備振興会	専 務 理 事		上川 寿之
		京都府自動車販売協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	小寺 雅夫
		日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸
	マスコミ	日刊自動車新聞社・京都自動車新聞社			

9) 滋賀県

日 時/場 所		平成 27 年 11 月 25 日 13:30～15:00/琵琶湖ホテル (大津市浜町 2-40)		
出席者	来 賓	滋賀県教育委員会事務局学校教育課	指 導 主 事	田中 俊夫
	学 校 関 係 者	滋賀県立瀬田工業高等学校	教 諭	南 睦志
		滋賀県立彦根工業高等学校	校 長	大菅 順市
		〃	教 諭	山田 昌孝
滋賀県立長浜北星高等学校		校 長	井関 英二	
〃	教 諭		西村 昇構	
協議会 関 係 者	滋賀県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	井上 雄二
	滋賀県自動車整備振興会	会 長		竹内 貢
	〃	常 務 理 事		條時 治生
	日本自動車連盟滋賀支部	課 長		丸山 哲也
	滋賀県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	塚本 治雄
〃	総務部主任		井上 敦子	
日本自動車教育振興財団	専 務 理 事		花田 隆夫	
マスコミ	日刊自動車新聞社			

10) 奈良県

日 時/場 所		平成 27 年 11 月 27 日 14:00～15:00/奈良県立奈良朱雀高等学校 (奈良市柏木町 248)		
出席者	来 賓	奈良県教育委員会事務局学校教育課	指 導 主 事	井上 和彦
	学 校 関 係 者	奈良県立奈良朱雀高等学校	校 長	松長 一樹
		〃	教 諭	松村 裕次
		奈良県立王寺工業高等学校	校 長	加藤 秀夫
〃		教 諭	大西 幸宏	
奈良県立御所実業高等学校	校 長		岩崎 俊哉	
〃	教 諭		藤田 勝義	
協議会 関 係 者	奈良県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	辻 隆範
	〃	業 務 課 長		木下 俊二
日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸	
マスコミ	日刊自動車新聞社			

11) 三重県

日 時/場 所		平成 27 年 12 月 2 日 13:30～15:00/ホテルグリーンパーク津 (津市羽所町 700)		
出席者	来 賓	三重県教育委員会高校教育課	指 導 主 事	柏端 正康
	学 校 関 係 者	三重県立桑名工業高等学校	教 諭	松田 悠吾
		三重県立四日市工業高等学校	校 長	竹内 均
		〃	教 諭	真弓 守
三重県立津工業高等学校		校 長	村井 司	
〃		教 諭	見並 宏紀	
三重県立松坂工業高等学校		教 諭	吉岡 徹	
三重県立伊勢工業高等学校		校 長	大久保克彦	
〃	教 諭	浜辺 恒彦		
三重県立伊賀白鳳高等学校	教 諭		茂手木博人	
協議会 関 係 者	三重県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	岩井 純朗
	岐阜県自動車整備振興会	教育指導部長		榊原 之夫
	日本自動車連盟三重支部	事 業 課 長		萱野 雄彦
	三重県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	松尾 元弘
	〃	総 務 課 長		濱本 幸治
〃	総務課主任		中尾 友美	
日本自動車教育振興財団	部 長		山形 洋一	

12) 愛知県

日 時/場 所		平成 27 年 12 月 3 日 13:30～15:00/キャッスルプラザ (名古屋市中村区名駅 4-3-25)		
出席者	来 賓	愛知県教育委員会高等学校教育課 愛知県代表校長愛知県立愛知工業高等学校	指 導 主 事 校 長	大島 隆二 蜂須賀 豊
	学 校 関 係 者	愛知県立小牧工業高等学校 " 愛知県立起工業高等学校 愛知県立豊田工業高等学校 愛知県立刈谷工業高等学校 " 愛知県立豊橋工業高等学校 (定時制) " 名古屋市立工業高等学校 " 名古屋市立工芸高等学校 " 愛知産業大学工業高等学校 " 享栄高等学校 "	校 長 教 諭 教 諭 教 諭 教 頭 校 長 教 諭 校 長 教 諭 校 長 教 諭 校 長 教 諭 教 頭	安部 則男 坂口 義雄 原 正三 星野 正英 山本 公浩 田中 庸貴 吉田 豊 花井 岳秀 坂井 秀輝 高川 登一 石原 正道 平野 慎滋 長谷川 昌 山下 雄士 尼子 理志 山田 篤志
	協議会 関 係 者	愛知県自動車販売協会協会 東京都自動車整備振興会 日本自動車連盟愛知支部 日本損害保険協会中部支部 愛知県自動車販売協会協会 " " 日本自動車教育振興財団	会 長 専 務 理 事 事務所次長 事務局長 専 務 理 事 総 務 部 長 " 総 務 次 長 部 長	[県協議会・会長] 小栗 一朗 浅野 忠信 丸目 武史 吉澤 篤史 大林 嘉樹 滝 正樹 吉野 嘉高 馬場 和幸
	マスコミ	日刊自動車新聞社・整備新聞		

13) 茨城県

日 時/場 所		平成 27 年 12 月 8 日 13:00～15:00/茨自販福祉センター (水戸市吉沢町 1005-1)		
出席者	来 賓	茨城県教育庁高校教育課	指 導 主 事	田中 一豪
	学 校 関 係 者	茨城県立高萩清松高等学校 茨城県立日立工業高等学校 茨城県立水戸工業高等学校 " 茨城県立江戸崎総合高等学校 茨城県立取手第一高等学校 茨城県立つくば工科高等学校校 " 茨城県立八千代高等学校	教 諭 教 諭 校 長 教 諭 校 長 教 諭 教 頭 教 諭 教 諭	古川 博文 寺門 勇 橋本 清明 安藤 正宏 石橋 昇 宮本 義勝 大和田 淳 小川 篤 小平 利昭
	協議会 関 係 者	茨城県自動車販売店協会 茨城県自動車整備振興会 " 茨城県軽自動車協会 " 日本自動車連盟茨城支部 茨城県自動車販売協会協会 " 日本自動車教育振興財団	会 長 会 長 専 務 理 事 会 長 専 務 理 事 推 進 課 長 専 務 理 事 総 務 部 長 部 長	[県協議会・会長] 幡谷 定俊 宮崎 一雄 楠 政則 嶋津孝一郎 福地 隆 阿久津雅行 市川 昌幸 佐藤 豊 馬場 和幸
	マスコミ	なし		

14) 和歌山県

日 時/場 所		平成 27 年 12 月 8 日 14:00～15:00/和歌山県立和歌山工業高等学校 (和歌山西浜 3-6-1)			
出 席 者	学 校 関 係 者	和歌山県立和歌山工業高等学校	校 長		中前 耕一
		和歌山県立箕島高等学校	教 諭		田中 昌
		和歌山県立箕島高等学校	校 長		藤村 利行
	協 議 会 関 係 者	和歌山県自動車販売協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	藪田 偉
		日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸
	マスコミ	日刊自動車新聞社			

15) 兵庫県

日 時/場 所		平成 27 年 12 月 14 日 13:00～14:30/ANAクラウンプラザホテル神戸(神戸市中央区北野町 1)			
出 席 者	来 賓	兵庫県教育委員会事務局高校教育課	指 導 主 事		天満 淳
	学 校 関 係 者	兵庫県立兵庫工業高等学校	校 長		小河 徹
		兵庫県立尼崎工業高等学校	教 諭		小幡 真之
		兵庫県立武庫荘総合高等学校	校 長		大川 真澄
		兵庫県立東播工業高等学校	工 業 部 長		大野 博史
		兵庫県立姫路工業高等学校	教 頭		原田 文夫
		兵庫県立飾磨工業高等学校	教 諭		雨河 祐二
		兵庫県立飾磨工業高等学校 (多部制)	教 諭		小谷 倫正
		兵庫県立洲本実業工業高等学校	教 諭		正木 基司
		尼崎市立尼崎工業高等学校 (定時制)	教 諭		藤田 伸之
		神戸市立神戸工科高等学校 (定時制)	校 長		久川 清司
		教 諭		谷 清隆	
		教 諭		大西喜代志	
	教 諭		古溝 茂		
	教 諭		津村 謙二		
協 議 会 関 係 者	兵庫県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	西原興一郎	
	兵庫県自動車整備振興会	専 務 理 事		山本 喜一	
	兵庫県軽自動車協会	専 務 理 事		中村 英明	
	日本自動車連盟兵庫支部	事 務 所 長		澤村 章	
	兵庫県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	平田 博美	
	常 務 理 事		藤原 義之		
	常 務 理 事		福田 宏美		
	常 務 理 事		上橋 義弘		
マスコミ	日刊自動車新聞社・カーニュース兵庫				